

6段階評価（達成率）

AA（計画の内容を100%を超えて実施）

C（計画の内容を50%以上70%未満実施）

A（計画の内容を100%実施）

D（計画の内容を50%未満実施）

B（計画の内容を70%以上100%未満実施）

E（計画の内容を未実施）

1.地域における子育て支援の充実

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|------------------|------------------------------------|----|--------------------|--------|--|-------|-------|------------------------|------|--|---|-------|---------|--------|--------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 1 | 1.地域における子育て支援の充実 | 1-1 幼児期の教育・保育の総合的な提供 ①保育サービスの充実 | 33 | 一時保育（一時預かり）事業 | 保育幼稚園課 | ・保護者の疾病や育児疲れ、一時的に家庭で保育できない場合等、一時保育（一時預かり）事業が必要な地域での保育所（園）において保育を実施します。保護者が利用しやすいよう情報の提供、環境を整えます。 | 延利用者数 | 4,440 | 12,220 | 人 | 公立保育所（園）7か所、私立保育園7か所の計14か所で実施しました（延利用者数は曙保育園における休日の一時保育利用者数を除く）。 | 保護者のニーズに応え、子育て世帯を支援しています。今後、実績を見たと、実態に即した目標値を検討する必要があります。 | 3,515 | D | 12,220 | 12,220 | 意向調査から導いた目標値と現状数値との隔たりが大きい。 |
| 2 | | | 33 | 一時保育（幼稚園預かり保育）事業 | 保育幼稚園課 | ・保護者のニーズを把握し、預かり保育の実施を推進します。 | 延利用者数 | 6,642 | 4,361 | 人 | 幼稚園在園児の保護者の申出によって、降園時間後も引き続き預かり保育を実施しました。 | 保護者のニーズに応え、子育て世帯を支援しています。 | 8,882 | AA | 4,205 | 3,923 | |
| 3 | | | 33 | 延長保育事業 | 保育幼稚園課 | ・保護者の多様な就労形態に対応するため、延長保育事業が必要な地域での保育所（園）において通常の保育時間を超えて午後7時まで保育を実施します。 | 利用者数 | 21 | 129 | 人 | 公立保育所（園）9か所、私立保育所（園）8か所の計17か所で実施しました（延利用者数は4,212人）。 | 保護者の多様な就労形態のニーズに応え、子育て世帯を支援しています。今後、実績を見たと、実態に即した目標値を検討する必要があります。 | 17 | D | 125 | 118 | 意向調査から導いた目標値と現状数値との差が大きい。 |
| 4 | | | 34 | 休日保育事業 | 保育幼稚園課 | ・休日保育事業が必要な地域での保育所（園）において日曜日、祝祭日の保育を実施します。制度の周知を広げるため、情報提供の工夫を行います。 | 延利用者数 | 393 | 400 | 人 | 曙保育園で日曜、祝祭日における保育を実施しました。曙保育園への入所の有無に関係なく利用できます（延利用者数は休日の一時保育利用者数を含む）。 | 保護者のニーズに応え、子育て世帯を支援しています。 | 524 | AA | 400 | 400 | |
| 5 | | | 34 | 日本語を自然に学べる教育・保育の充実 | 保育幼稚園課 | ・外国人の子どもに対し、日本語に馴染みやすい教育・保育環境を整えます。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所（園） | 身近に親しむ保育環境を整えるとともに、毎週1、2回、保護者と一緒に或いは保育士と一緒に絵本を選ぶ貸出を実施しました。 | 絵本の貸出しを行うことで、絵本にふれる機会が増えています。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|------------------|------------------------------------|--------|---|---------|---|-------------|------|--|---|--|---|------|---------|----|------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 6 | 1・地域における子育て支援の充実 | 1-1 幼児期の教育・保育の総合的な提供 ①保育サービスの充実 | 34 | 日本語を自然に学べる教育・保育の充実 | 学校教育課 | ・外国人の子どもに対し、日本語に馴染みやすい教育・保育環境を整えるために絵本の貸出しを実施します。 | 一人当たりの貸出し冊数 | 15 | 10 | 冊 | 保護者と一緒に絵本を選ぶ時と友達と一緒に選ぶ時と月によって違いますが、毎月1回絵本の貸出しを実施しました。 | 毎月、絵本の貸出しを行うことで。絵本にふれる機会が増えています。 | 7 | B | 10 | 12 | |
| 7 | | | 34 | 外国人の保護者に対する相談体制の充実 | 保育幼稚園課 | ・外国人の保護者に対し、おたよりの翻訳や相談時の通訳するために通訳を配置します。 | 人数 | 1 | 1 | 人 | 外国人の保護者にわかりやすいよう、毎月のおたよりの翻訳や相談時の通訳を実施しました。 | 翻訳を見せながら又は通訳を介して会話ができるので、安心して伝えることができます。 | 1 | A | 1 | 1 | |
| 8 | | | 34 | 外国人の保護者に対する相談体制の充実 | 保育幼稚園課 | ・幼稚園に在籍する外国籍園児の保護者の相談のために、通訳を配置します。 | 人数 | 1 | 1 | 人 | 通訳が配置されていることで、子育てについてや生活について等の話がありました。 | 互いの思いが伝わりやすいので、安心して話すことができます。 | 1 | A | 1 | 1 | |
| 9 | | | 34 | 保育所（園）の統合・民営化による再編整備の推進 | 保育幼稚園課 | ・小学校区や保育所（園）の規模を考慮し、中規模園（110人以上）を基本とした統合・民営化による再編整備を進めます。 | 公立保育所（園）数 | 18 | 17 | 所（園） | まるばしら保育所のH28年度末での閉所に伴う条例改正を行いました。また、公立佐那具保育所と私立府中保育園の再編整備（統合）に向けて、各保育所（園）保護者に対し説明を行うとともに新府中保育園舎整備への支援を行いました。 | 今後も佐那具保育所と府中保育園の再編整備（統合）に必要な協議や支援を行います。また、健全な集団保育を保障するため、再編整備の協議・検討を継続していきます。 | 17 | A | 16 | 16 | |
| 10 | | | 34 | 保育所（園）施設の保育環境整備の推進 | 保育幼稚園課 | ・施設の老朽化等に対応するため、施設・設備の補修や改修を行い、安心・安全な保育環境の維持管理を行います。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所（園） | 施設の老朽化等に対応するため、施設・設備の補修や改修を行いました。公立保育所（園）18所（園） 修繕工事 150件 8,038,467円 改修工事 6件 8,537,400円 | 空調関係、屋外遊具の更新が増加しています。和式便器の洋式化は計画的に進めていきます。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |
| 11 | 34 | 保育所（園）再編整備に関する協議の実施 | 保育幼稚園課 | ・保育所（園）の再編にあたり、保護者や地域住民に対し、施設整備や統合内容、社会福祉法人が運営する民間運営制度を説明するなど協議を行う機会を十分設けます。公立佐那具保育所と私立府中保育園の再編整備に関して地域、保護者への説明会を実施します。 | 指標化できない | — | — | — | 佐那具保育所と府中保育園の再編整備（統合）について、保護者への説明を行いました。 回数 各1回 | 今後も、新府中保育園舎整備の進捗を見ながら、必要に応じて、地域、保護者への説明会を実施します。 | — | — | — | — | | | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|------------------|-------------------------------------|----|--------------------------|-----------------|--|------|-------|------------------------|------|---|--|-------|---------|-------|-------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 12 | 1・地域における子育て支援の充実 | 1-1 幼児期の教育・保育の総合的な提供 ① 保育サービスの充実 | 34 | 保育所（園）における低年齢児保育の推進 | 保育幼稚園課 | ・保育所（園）入所児童の低年齢化に配慮よう保育環境を整えます。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所（園） | 0・1歳児が多く入所する保育所（園）には、保育の質の向上と安全性に考慮し、設備面等の保育環境を整えました。 | 今後、保育士の確保とともに施設、設備面の充実を図っていく必要があります。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |
| 13 | | | 34 | 保育所（園）における障がい児保育の充実 | 保育幼稚園課 | ・児童の発達や障がいに応じた保育や療育を行うため専門性を高め、障がい児保育の充実を図ります。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所（園） | 一人ひとりの児童の発達や障がいに応じた保育ができるよう、必要な保育士を配置し保育を実施しました。また、専門性を高めるため研修に積極的に参加しました。 | 専門性の高い研修を通して保育の質の向上に役立てることができました。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |
| 14 | | | 34 | 地域や家庭との連携による解放保育・人権保育の充実 | 保育幼稚園課 | ・人権保育の一環として、一人ひとりを認め仲間を大切に差別に立ち向かう心を育てる保育を行うための研修等を行い、保育士の意識向上を図ります。また、家庭、地域と連携し、人権を大切にする保育の充実を図ります。 | 参加者数 | 637 | 650 | 人 | 伊賀市解放保育研究会で講演会を1回、推進保育士の交流会を3回、職員同士が解放保育について語り合う語ろう会を3回行い、保育士の意識の向上を図りました。 | 解放保育基本方針を全職員が認識し保育を行うとともに、地域・保護者の参加者に対する啓発が課題です。 | 666 | AA | 660 | 700 | |
| 15 | | | 34 | 保育士・幼稚園教員の研修機会の充実 | 保育幼稚園課 | ・保育の資質向上のため各種研修会に参加し、保育の充実に努めます。 | 参加者数 | 1,328 | 1,300 | 人 | 各種研修会に積極的に参加し、保育の質の向上を図りました。また、国庫補助金を活用し、外部講師による所（園）長研修（全3回）、主任研修（全2回）を実施し、現場のリーダーとしての資質向上を図りました。 | 研修を通して保育の質の向上に役立てることができました。 | 1,293 | B | 1,300 | 1,350 | |
| 16 | | | 34 | 保育士・幼稚園教員の研修機会の充実 | 学校教育課 | ・幼稚園教育の質の向上をめざし、子育て支援に関する研修会に参加します。 | 参加者数 | 49 | 50 | 人 | 研修会に参加したり、子育て支援をしている機関へ見学に行き話を聞いたりしました。 | 教員の子育て支援への意識を高め、役立てることができました。 | 27 | C | 35 | 50 | |
| 17 | | | 34 | 保育士・幼稚園教員の交流促進 | 保育幼稚園課 学校教育課 | ・幼保連携のための研修会を開催し、連携の強化に努めます。 | 回数 | 6 | 6 | 回 | 研修会を開催し、各園の子どもの状況や取組について話し合いました。 | 就学前の子どもたちの課題を共有しながら実践することができました。 | 6 | A | 6 | 4 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | | |
|----|------------------|----------------------|-------------|-----|-----------------------------|------------------|--|-----------|------------------------|----|---------|---|--|---------|----|------|------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 | |
| 18 | 1・地域における子育て支援の充実 | 1-1 幼児期の教育・保育の総合的な提供 | ②学童期への円滑な接続 | 35 | 保育所（園）・幼稚園と小学校との連携体制の充実 | 保育幼稚園課 | ・就学前保育から小学校教育へとスムーズな移行ができるよう、保育要録などにより就学児童一人ひとりの状況を小学校と相談するなど連携を行います。また、保育所（園）、幼稚園の園児と小学校児童の交流に努めます。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所（園） | 就学児童一人ひとりの状況を定期的に小学校と相談するなど連携を行いました。また、小学校児童との交流をしました。 | 就学前の子どもたちの課題を共有し、小学校との連携を密にすることができました。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |
| 19 | | | | 35 | 保育所（園）・幼稚園と小学校との連携体制の充実 | 学校教育課 | ・就学前保育から小学校教育へとスムーズな移行ができるよう、幼稚園幼児指導要録などにより就学児童一人ひとりの状況を小学校と相談するなど連携を行います。また、幼稚園の園児と小学校児童の交流に努めます。 | 交流回数 | 1 | 1 | 回 | 幼稚園児と小学校児童との交流会を行いました。 | 幼稚園児が小学校で学校生活の体験ができたことで、就学に向けて安心感が生まれると共に、子どもの状況について互いに知り合う機会になりました。 | 1 | A | 1 | 2 | |
| 20 | | | | 35 | 保育所（園）・幼稚園と小学校との連携による研修会の開催 | 保育幼稚園課 | ・連携の充実を図るため、小学校の運動会などに参加し交流を行います。また、小学校と連携して、各種研修会に参加します。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所（園） | 卒園した子どもの様子を授業参観や運動会などを通して見学したり、保小連絡会などを通して各種研修会に参加しました。 | 互いの子どもの状況や課題について情報共有する機会になりました。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |
| 21 | | | | 35 | 保育所（園）・幼稚園と小学校との連携による研修会の開催 | 学校教育課 | 小学校と連携して、各種研修会に参加します。 | 当該校あたりの回数 | 1 | 1 | 回 | 保幼小同和教育学習会や公開授業に積極的に参加しました。 | 互いの子どもの状況や取組について知り合う機会になりました。 | 1 | A | 1 | 1 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|---|------|----|-----------------------|---------|--|---------|-------------------------|--------------------------|----|--|---|-------------------------|---------|--------------------------|-------------------------|------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 22 | 1・地域における子育て支援の充実 1-2 児童の放課後の過ごし方への支援 ①放課後児童の健全育成の充実 | | 36 | 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ) | こども未来課 | ・共働き家庭が増えるなか、昼間保護者がいない児童の健全育成を図るため、適切な遊びや生活の場を与え、希望する子どもが利用できるよう、待機児童の解消策や未設置地区についての設置検討を行います。 ・新たな設置を進めていくため、学校施設等の活用を検討します。 | 利用者数 | 低学年 634 高学年 95 | 低学年 402 高学年 299 | 人 | 放課後児童クラブを2施設新規に設置しました。 ・成和西放課後児童クラブ ・成和東放課後児童クラブ | 利用希望は年々増加(特に夏休み)していることから、未設置校区への設置に向けた協議を進めるとともに、利用ニーズに応じた対応を検討していく必要があります。 なお、利用申込みや登録児童の動向分析を踏まえた目標値の見直しが必要です。 | 低学年 655 高学年 65 | AA | 低学年 396 高学年 296 | 低学年 710 高学年 80 | |
| 23 | | | 36 | 学習支援教室「ささゆり」 | 市民生活課 | 関係団体やボランティアと協働し、外国にルーツを持つ児童生徒に、日本語による教科学習支援を行います。 | 指標化できない | 508 | — | 人 | 伊賀市国際交流協会に委託し、毎週土曜日に実施しました。 | 外国につながりを持つ子どもは、日本語能力が充分でない場合が多く、進学や就職に対応する学力と日本語を身につけるためにも日本語による学習支援は必要です。 | 657 | — | — | — | |
| 24 | | | 36 | 児童館事業 | しろなみ児童館 | ・放課後の児童が安心して過ごすための居場所づくりとして、遊びや学習を通じて児童の健全育成を図ります。 | 延利用者数 | 8,309 | 9,000 | 人 | 放課後児童の見守り、児童間の問題解決や体験事業を行い、健全育成推進を図りました。 | 保護者・児童ともに安心して過ごせる場所としてニーズは高いです。 | 6,932 | B | 7,500 | 8,500 | 下方修正 |
| 25 | | | 36 | 児童館事業 | まえがわ児童館 | ・放課後の児童が安心して過ごすための居場所づくりとして、遊びや学習を通じて児童の健全育成を図ります。 | 延利用者数 | 3,086 | 3,500 | 人 | 夏休みの開館で学力向上を図る共に、体験・チャレンジ教室等を開催しました。 | 児童の活動の拠点、子ども会を通じた人権の仲間づくり、感性を磨くための各種教室等を開設し、人権のリーダー育成を図りました。 | 4,408 | AA | 4,000 | 4,000 | 上方修正 |
| 26 | | | 36 | 児童館事業(体験スクール) | まえがわ児童館 | 小学生を対象に、子どもたちが、自分の将来の可能性を拓き、将来、社会の中で自立していけることを目指して毎週水曜日17:00から18:00まで実施します。 | 延参加者数 | 882 | 900 | 人 | 野外活動研修やアクセサリー作り等を行いました。 | 体験したいことをみんなで話し合い実践することにより自立心を養いました。 | 1,083 | AA | 1,000 | 1,000 | 上方修正 |
| 27 | | | 36 | 児童館事業(チャレンジ教室) | まえがわ児童館 | 小学生を対象に児童館を拠点として、身体を動かし手先を使い、工作や調理の実習などを行い、なかまとともに活動することの大切さを学ぶため毎週土曜日14:00から15:30に実施します。 | 延参加者数 | 304 | 400 | 人 | 工作教室等を行いました。 | 人権リーダー育成事業として、小学生(地区内外)を対象に、創作や料理づくりなどあらゆる物事にチャレンジ精神を養いました。 | 381 | B | 400 | 400 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|---|------|----|-----------------|---------|---|-------|--------------|------------------------|-----------------|---|--|--------------|---------|-----|----------------------|--|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 28 | 1・地域における子育て支援の充実 1-2 児童の放課後の過ごし方への支援 ①放課後児童の健全育成の充実 | | 36 | 児童館事業（土曜開館） | まえがわ児童館 | 小学生を対象に、基礎学力の定着を図り学力の向上を目指してつげっ子塾を9：00から10：00まで、また心身を鍛え中間の輪の構築をめざしてスポーツ教室10：00から11：30まで実施します。 | 延参加者数 | 300 | 300 | 人 | 基礎学習のため学習を行うと共に、仲間づくりのため、スポーツを行いました。 | 土曜開館のより中間の輪が拡大できるため事業の継続が必要です。 | 330 | AA | 300 | 300 | |
| 29 | | | 36 | 児童館事業（音楽教室） | まえがわ児童館 | 中学生を対象に、楽器演奏を通して反差別の仲間作りを目指して毎週水曜日18：00から19：00まで実施します。 | 延参加者数 | 289 | 300 | 人 | まえがわ夏まつりで演奏を行いました。また、解放文化際（2月）で演奏を行う予定です。 | 音楽教室を通して、仲間づくりや人権について話し合いを行うことにより、反差別の協働の取り組みができることから継続します。 | 224 | B | 300 | 300 | |
| 30 | | | 36 | 児童館事業 | 老川児童館 | ・放課後の児童が安心して過ごすための居場所づくりとして、遊びや学習を通じて児童の健全育成を図ります。 | 延利用者数 | 1,176 | 1,470 | 人 | 老川児童館の開館時間に合わせて開放していきました。 | 遊具の点検は毎年行っていますが、不備が出た際の修繕や新設の費用捻出が困難になっています。 | 694 | D | 750 | 750 | 児童数が減少するため目標値を見直しました。 |
| 31 | | | 36 | 児童館事業（交流事業） | 老川児童館 | 小学校や中学校から年1回訪問してもらい、人権学習の支援や体験、交流の場とします。 | 延利用者数 | 152 | 150 | 人 | 小学校3年生や中学校1年生が来館し、青山文化センター(老川児童館)の趣旨と概要の学習と、交流を行いました。 | 学習の中で、青山地域における人権の取組みを学ぶとともに交流を深める事ができます。児童の現状など、学校との情報交換を十分に行っていく必要があります。 | 137 | B | 150 | 150 | 中学校からの訪問が再開したため事業内容を見直しました。 |
| 32 | | | 36 | 児童館事業（講座・教室の開催） | 老川児童館 | 青山小学校の児童を対象に多様な体験学習会を行ないます。 | 延参加者数 | 248 | 300 | 人 | 学校教育では、体験できない学習会や体験活動を通じて、心身ともに健全な児童の育成を図りました。 | 児童館事業参加児童が減少しているため、児童館活動に支障ができてくる事が予想されます。 | 219 | B | 300 | 300 | |
| 33 | | | 36 | 放課後子ども教室 | 生涯学習課 | ・小学生を対象として、安心・安全な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取り組みを推進します。 | 箇所数 | 6 (4,160) | 4 (2,300) | 箇所 (児童延参加人数) | 4つの小学校区（柘植小、西柘植小、青山小、成和東小）において4つの放課後子ども教室を開催しました。 | 放課後の子どもの居場所として、各教室において地域住民との交流やさまざまな体験活動を通じて児童の健全育成に努めました。見守り支援を行う地域スタッフの高齢化や人材不足など、安定した運営体制の継続が課題となっています。年々国県補助金が減額となってきています。 | 4 (2,842) | A | 4 | 当初10 5 (3,000) | 放課後児童クラブの開設の影響もあり減少傾向にあるため28計画値を現状維持の目標値としました。目標の数値を児童延べ参加人数を追加しました。 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|---|------|----|------------------------|--------|--|------------|-------------------|------------------------|----|--|--|-------------------|---------|-------------------|-------------------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 34 | 1・地域における子育て支援の充実 1-3 地域における多様な子育て支援の充実 ① 子育て支援サービスの充実 | | 37 | 地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター) | こども未来課 | ・乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言などの援助を行います。 子育て包括支援センター1箇所 子育て支援センター 7箇所 | 月当たり延べ利用回数 | 1,451 | 4,353 | 回 | 子育て支援センターで情報誌等を発行し、情報提供を行いました。地域子育て支援センター等の子育て家庭が集まる場を利用し子育て経験者が子育て世代に対して家庭教育に関する指導、助言を行ったり、相談に乗ったりする機会の提供に努めました。内容によっては、健康推進課や家庭児童相談員へつなげました。 | 子育て支援センターで情報誌を発行し、情報提供を行いました。子育て支援事業の中で、専門的な知識を持った講師より家庭保育に関する助言等を行い、相談の内容によっては、専門機関へ繋ぎました。 なお、利用状況に照らし、目標値の見直しが必要です。 | 1,402 | D | 4,248 | 4,073 | 意向調査から導いた目標値と現状数値との隔たりが大きい。 |
| 35 | | | 37 | 子育て包括支援センター事業 | こども未来課 | ・子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ①市内の子育て支援施設のネットワーク化を図るための会議を行います。 ②子育てサークルの指導・育成、連携に努めます。 ③子育て支援講演会等の各事業を実施します。 | 回数 | ① 2 ② 2 ③ 5 | ① 2 ② 2 ③ 2 | 回 | ①市内子育て支援センターとの情報共有を行いました。 ②地域で子育て家庭を見守っていただける子育てマスターの養成講座を三重県と共催で開催しました。 ③子育てサークル活動発表の場としてイベントを開催しました。 | 市内の各支援センター、子育てサークルとの連携や地域での子育てサポーターの養成講座などを子育て支援の中核施設として実施できました。 ③毎年、三重県との共催で実施できるかどうか未定です。 | ① 3 ② 0 ③ 1 | B | ① 2 ② 1 ③ 3 | ① 4 ② 4 ③ 2 | |
| 36 | | | 37 | 病児・病後児保育(くまさんルーム)事業 | こども未来課 | ・病気の回復期にある幼児、児童を保護者に代わって一時的に預かり、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図ります。 専門職のスタッフの確保に努めます。 | 延利用者数 | 151 | 730 | 人 | 市内の小児科医や保育所(園)等へチラシ等を配付し、周知に努めました。 | 受入れ体制を整えるため、専門職のスタッフ確保に努めました。 なお、利用状況に照らし、目標値の見直しが必要です。 | 284 | D | 730 | 730 | |
| 37 | | | 37 | 子育て短期支援(ショートステイ)事業 | こども未来課 | ・家庭で子どもを養育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設等において一定期間、子どもを養育または保護し、子ども及びその家庭の福祉向上を図ります。 | 指標化できない | 0 | — | 日 | 家庭で子どもを養育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設において一定期間、子どもを養育又は保護し、子ども及びその家庭の福祉向上を図りました。 | 家庭のニーズにあわせて預かり期間、場所等の調整を実施し、その家庭が抱える課題へ適切に対応しました。 | 14 | — | — | 14 | |
| 38 | | | 37 | 子育て相談広場「にんにんパーク」事業 | こども未来課 | 平日、就労している保護者等を対象に、自然の中で親子のふれあいを楽しめる上野南公園を活用し、休日に子育て相談やからだそだて事業の取り組みの紹介や実践指導を行います。 | 延利用者数 | — | 450 | 人 | 毎月第2、第4日曜日に自然の中でからだを動かしながら、季節のイベントを楽しみつつ、親子がふれあうことができる「にんにんパーク」を開設しました。 | 休日に親子がふれあいを楽しむことができる場として実施することができました。 今後はさらに事業の周知をしていく必要があります。 | 655 | AA | 500 | 500 | 新規 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|--|------|----|---------------------------|--------|--|-------|------|------------------------|------|--|---|------|---------|-----|------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 39 | 1・地域における子育て支援の充実 1-3 地域における多様な子育て支援の充実 ①子育て支援サービスの充実 | | 37 | 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業） | 健康推進課 | ・生後4か月までの乳児がいる家庭を対象に、こんにちは赤ちゃん訪問を実施します。保健師や助産師等が全戸訪問を行い、乳児の身体計測及び育児に関する相談を受けます。育児環境等の確認も行います。 | 件数 | 614 | 630 | 件 | 生後4か月児までの乳児の家庭を対象に、全戸を対象に訪問しました。地区担当の保健師や助産師が訪問し身体計測や育児に関する相談を受けました。育児の環境などの確認も行ないました。（訪問率98%） | 訪問できない家庭の8割が外国人の家庭であり、通訳に連絡をしてもらっているが難しい状況です。 | 625 | B | 620 | 580 | 出生に対する訪問率98% |
| 40 | | | 37 | 養育支援訪問事業 | 健康推進課 | ・こんにちは赤ちゃん訪問で継続支援が必要と思われる家庭をはじめ、虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への保健師等による家庭訪問を実施します。また、各機関と連携をより深め、情報の共有を徹底していきます。 | 延訪問件数 | 77 | 120 | 件 | 継続支援が必要なケースに対し、訪問を実施します。必要に応じ各機関と連携し、情報共有を徹底しました。 | 背景が複雑なケースが増えており、他機関との連携が必要です。 | 98 | B | 110 | 100 | |
| 41 | | | 38 | ファミリー・サポート・センター事業 | こども未来課 | ・育児の援助を受けたい人（依頼会員）と子育て支援ができる人（提供会員）を結びつけることで、保護者の育児と仕事の両立や地域での子育てを支援します。 ・事業の周知及び理解を広めるための啓発活動を行い、提供会員の確保に努めます。 | 会員数 | 403 | 405 | 人 | 依頼会員と提供会員を結びつけ保護者の育児と仕事の両立や地域での子育てを支援するための会員数の増を目指しました。 | 通信発行回数を増やす。提供会員養成講座の実施など、会員数が増えました。 | 404 | A | 410 | 420 | |
| 42 | | | 38 | 保育所（園）における子育て支援事業の充実 | 保育幼稚園課 | ・保育所（園）での子育て支援（未就園児と一緒に遊ぶ、保健指導、育児相談）や園庭開放を計画に基づいて実施します。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所（園） | 未就園児と一緒に遊ぶ「遊びの広場」を計画的に開催したり、園庭開放を実施しました。 | 地域における未就園児の減少と人数の把握が課題となっています。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |
| 43 | | | 38 | 利用者支援事業 | 健康推進課 | ・子どもの保護者や妊娠している人が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、情報提供や相談・助言を行うとともに、関係機関との連絡調整を行う利用者支援事業を実施します。 | 箇所数 | — | 1 | 箇所 | 妊娠中からの切れ目のない支援システム整備を行い、ケースの支援計画作成と関係機関との調整を行いました。 | 子育てへの切れ目のない支援が必要であるため、継続して取り組みます。 | 1 | A | 1 | 1 | 平成28年度から、実施課を健康推進課に変更 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|------------------|--------------------------------------|----|-----------------|--------|---|------|--------|------------------------|----|---|---|--------|---------|--------|---------------|------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 44 | 1・地域における子育て支援の充実 | 1-4 子育て支援家庭への経済的負担の軽減 ① 手当・医療費の助成 | 39 | 児童手当支給事業 | こども未来課 | ・子育て家庭の経済的な負担軽減を図るため、児童手当等を支給します。 | 受給者数 | 6,335 | 6,300 | 人 | 子育て家庭の経済的な負担軽減を図るため、児童手当及び特例給付を支給しました。 | 家庭における生活の安定と児童の健全育成につながります。 | 6,145 | B | 6,200 | 6,000 | |
| 45 | | | 39 | 子ども医療費助成制度 | 保険年金課 | ・中学校修了までの子どもを対象に医療費を助成します。また、未就学児についての医療費窓口無料化に向けて準備を進めます。 | 登録者数 | 10,338 | 10,400 | 人 | 左記受給者に医療費を助成しました。また、年度更新にあたり、制度の案内を広報伊賀市及びHP上で周知しました。 | 医療費の助成により、受給者の福祉増進と子育て世帯の経済的な負担軽減が図られました。 | 10,155 | B | 10,100 | 10,100 | 下方修正 |
| 46 | | | 39 | 児童扶養手当支給事業 | こども未来課 | ・ひとり親家庭の生活の安定と自立を経済的な面から支援し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当を支給します。 | 受給者数 | 625 | 650 | 人 | ひとり親家庭等が安定した生活を送れるよう、経済的な面から支援を行いました。 | ひとり親家庭の生活の安定と自立を助け、児童福祉の増進が図れます。 | 594 | B | 650 | 650 | |
| 47 | | | 39 | 乳幼児インフルエンザ費用の助成 | 健康推進課 | ・乳幼児インフルエンザワクチン予防接種費用の一部を助成します。 | 助成者数 | 5,323 | 5,300 | 人 | 乳幼児インフルエンザワクチン予防接種費用の一部を助成します。（10月15日～1月31日接種分）広報・HP等で周知しました。 | 感染症予防対策として、継続して取り組みます。 | 5,226 | B | 5,000 | 5,000 | |
| 48 | | | 39 | 特別児童扶養手当の支給 | こども未来課 | ・身体や精神に障がいのある20歳未満の児童の福祉増進を図るため、特別児童扶養手当を支給します。 | 受給者数 | 158 | 165 | 件 | 身体や精神に障がいのある20歳未満の対象者について、児童の福祉増進を図るため、経済的な面から支援するための申請受付等を行いました。 | 児童の福祉増進につながりました。 | 168 | AA | 165 | 165 | 上方修正 |
| 49 | | | 39 | 障害児福祉手当の支給 | 障がい福祉課 | ・重度の障がいがあり、日常的に特別な介護を必要とする20歳未満の児童に対して障害児福祉手当（国制度）及び重度障害児福祉手当（市制度）を支給します。 | 支給者数 | 110 | 110 | 人 | 障害児福祉手当（国制度）は8月1日号、重度障害児福祉手当（市制度）は9月1日号の広報が市で制度についての周知をしました。 | 障害児の生活の向上及び介護者の経済的負担の軽減を図りました。 | 122 | AA | 125 | 31年までの累計（625） | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|-------------------|--------------------------------------|----|------------------------|--------|---|-------|-------|------------------------|----|--|-------------------------------------|-------|---------|-------|-------|------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 50 | 1. 地域における子育て支援の充実 | 1-4 子育て支援家庭への経済的負担の軽減 ① 手当・医療費の助成 | 39 | 障がい者医療費助成制度 | 保険年金課 | ・身体障害者手帳1～3級、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳1級または2級を持っている方（通院のみ）に医療費を助成します。 | 登録者数 | 1,585 | 1,590 | 人 | 左記受給者に医療費を助成しました。また、年度更新にあたり、制度の案内を広報伊賀市及びHP上で周知しました。 | 医療費の助成により、受給者の福祉増進と経済的な負担軽減が図られました。 | 1,581 | B | 1,600 | 1,600 | |
| 51 | | | 39 | 一人親家庭等医療費助成制度 | 保険年金課 | ・18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にあるひとり親家庭の児童、及びその児童を扶養している父または母、または父母に代わってその児童を養育している方に医療費を助成します。未就学児の医療費窓口無料化を実施するため準備を進めます。 | 登録者数 | 1,632 | 1,640 | 人 | 左記受給者に医療費を助成しました。また、年度更新にあたり、制度の案内を広報伊賀市及びHP上で周知しました。 | 医療費の助成により、受給者の福祉増進と経済的な負担軽減が図られました。 | 1,569 | B | 1,500 | 1,500 | 下方修正 |
| 52 | | | 39 | ファミリー・サポート・センター利用料助成事業 | こども未来課 | ファミリー・サポート・センター事業を利用するひとり親家庭・生活保護世帯に対し、利用料の助成を行います。 | 延利用者数 | — | 36 | 人 | ファミリー・サポート・センターを利用するひとり親家庭・生活保護世帯に対し、利用料の助成を行い、仕事と家庭の両立が出来るよう支援しました。 | 助成制度を開始したことで、ひとり親家庭の利用が増加しました。 | 6 | D | 6 | 10 | 新規 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 |
|----|------|------|---|-----|-------|------------------|----|------|------------------------|----|---------|----------|------|---------|----|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | |

2.安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|------------------------------|--------------------------|------------|----|---------------------------|-------|--|-------------------------------------|---------------------------------|---|---|--|---------------------------------|---|---------------------------------|-----------------------------|--|
| 53 | 2・安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり | 2-1母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進 | ①母子保健制度の充実 | 41 | 福祉医療費助成制度《再掲》 | 保険年金課 | ・医療費の一部を助成し、健康の保持と福祉の向上を図ります。 ①子ども医療費助成制度 ②一人親家庭等医療費助成制度 ③障がい者医療費助成制度 | 登録者数 ①10,338 ②1,632 ③1,585 | ① 10,400 ②1,640 ③1,590 | 人 | 《再掲》 | 《再掲》 | ① 10,155 ②1,569 ③1,581 | B | ① 10,100 ②1,500 ③1,600 | ①10,100 ②1,500 ③1,600 | |
| 54 | | | | 41 | 母子保健事業 | 健康推進課 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | ①母子健康手帳の交付 | | ①交付数 | 657 | 660 | 件 | 母子健康手帳の交付と共に県下統一のアンケートを記入し、リスクアセスメントを行いました。 | リスクアセスメントを実施することで、妊娠中から支援が必要なケースが明確化できました。 | 617 | B | 600 | 600 | |
| | | | | | ②妊婦健康診査(医療機関委託) | | ②受診者数 | 7,538 | 9,100 | 人 | 14回分の健診費用助成をしました。 | 安心安全な出産のため、継続して取り組みます。 | 7,227 | B | 8,820 | 8,400 | |
| | | | | | ③乳幼児健診(4か月・10か月・1歳6か月・3歳) | | ③1歳6か月児健診受診率 | 97 | 97 | % | 乳児健診は医療機関委託で幼児健診は集団で健診を実施しました。 | 未受診者には電話連絡など行っているが8割が外国人であり連絡が困難です。 | 96 | B | 97 | 97 | |
| | | | | | ④育児相談(随時対応)、2歳児相談 | | ④2歳児相談来所率 | 71 | 70 | % | 2歳児相談は1歳6か月児で経過観察になった児と未受診者を対象に通知しました。 | 2歳児相談の対象児が増加傾向です。 | 68 | B | 70 | 70 | |
| | | | | | ⑤電話相談(随時対応) | | ⑤電話相談数 | 97 | 120 | 件 | 妊婦から思春期まで幅広く電話相談に対応しました。 | 妊娠からの切れ目のない支援として、継続して取り組みます。 | 77 | C | 100 | 100 | |
| | | | | | ⑥こんにちは赤ちゃん訪問事業 | | ⑥訪問率 | 98 | 98 | % | 全出生児を対象に家庭訪問をしました。 | 訪問できない家庭の8割が外国人の家庭であり、通訳に連絡をしてもらっているが難しい状況です。 | 98 | A | 98 | 95 | |
| | | | | | ⑦家庭訪問指導事業 | | ⑦訪問件数 | 143 | 150 | 件 | 訪問希望や必要に応じ訪問を行いました。 | 継続的に関わりが必要なケースが増加しています。 | 136 | B | 140 | 150 | |
| | | | | | ⑧産後ケア事業 | | ⑧利用数 | 0 | 2 | 件 | 産婦人科と連絡調整の上、入院型を実施し、1泊2日入院し児の授乳や育児について指導を行いました。 | 妊娠出産子育て期のサービスを充実する上では必要な事業であるため、今後更に、産科医療機関等との連携や周知啓発を行い事業の推進を図っていきます。 | 1 | C | 3 | 5 | |
| | | | | | ⑨その他の健康教室 | | ⑨離乳食教室参加数 | 149 | 160 | 人 | 離乳食教室他母子を対象とした教室を実施しました。 | 切れ目のない支援の一環として、継続して取り組みます。 | 146 | B | 160 | 180 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|------------------------------|---|----|-------------------|----------------|---|--------------|------|------------------------|----|--|---|------|---------|-----|------|------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 55 | 2・安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり | 2-1 母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進 ①母子保健制度の充実 | 41 | 母子保健事業 | こども未来課 | 5歳児発達相談事業を実施します。 年中児を対象として保護者にアンケートを記入してもらい、保育所等での集団場面の観察を行うことで、社会性などの発達課題を発見したり、保護者からの相談に応じる機会とします。 | 箇所数 | 18 | 34 | 箇所 | 年中児を対象として保護者にアンケートを記入してもらい、保育所等での集団場面の観察を行い、社会性などの発達課題を発見したり、保護者からの相談に応じました。 | 子どもの発達特性に応じ、就学に向けて適切な支援ができるように支援しました。また保護者の育児支援も行います。 | 35 | AA | 34 | 34 | |
| 56 | | | 41 | ウェルカムベビー教室(両親学級) | 健康推進課 | 妊婦とその夫や家族を対象に、妊娠・出産に関する講話や妊婦体験、沐浴、心音聴取などの体験と情報交換の場、仲間づくりを目的として、土・日曜日に教室を開催します。妊娠中の生活、出産や育児について理解を深め、夫や家族の協力を得ることで家族が育児に積極的にかわれるよう支援を行います。 | 参加者数 | 102 | 120 | 人 | 妊婦とその家族に対し、赤ちゃんのいる生活の話と妊婦体験、沐浴実習と予定日の近いグループで懇談を行いました。 | 妊婦とその家族を対象とするため、夫や家族との参加が増えています。実習を主体にするため定員を設けており、希望者が全て参加できない回もありました。 | 100 | B | 100 | 120 | |
| 57 | | | 41 | 未熟児養育医療事業 | 保険年金課 健康推進課 | 種々の未熟性があり、入院治療を必要とする未熟児に対して、医療の給付を行います。 | 指標化できない | 11 | — | 人 | 未熟性があり入院治療が必要な児に対して、医師の診断書を基に医療の給付を行いました。 | 医療費給付を委任払いにより実施し、母子の負担を軽減しています。 医師の診断書を基に審査のうえ、給付を行なうが判断に迷うケースがあります。 | 21 | — | — | — | |
| 58 | | | 41 | 不妊に関する相談体制の整備 | 健康推進課 | 三重県特定不妊治療費補助金として、県と市による助成事業を行います。一般不妊治療に対しても市で助成事業を実施します。 | 特定不妊治療新規申請者数 | 34 | 40 | 件 | 特定不妊治療費に加え、一般不妊治療費の助成を実施しました。 | 毎年、新規申請者が20件以上あり、不妊治療は高額になるため、助成を継続します。 | 33 | B | 40 | 40 | |
| 59 | | | 41 | 要指導妊産婦に対するフォローの充実 | 健康推進課 | *特定妊婦や妊婦健診結果で要指導となった妊産婦を対象に、訪問指導などを行います。 | 実訪問件数 | 9 | 10 | 件 | 出産後の支援につながるよう、妊娠中から連絡を取り訪問しました。 | 妊婦アンケートのリスクアセスメントをして、関わりを始めたことから件数は増加傾向です。 | 11 | AA | 10 | 10 | |
| 60 | | | 42 | 周産期における各機関との連携の強化 | 健康推進課 | *特定妊婦については周産期医療機関や各機関と早期より連携を行い、妊娠・出産・子育ての支援を行うように努めます。 | 退院連絡票の件数 | 31 | 30 | 件 | 必要な家庭には、早期に関わるよう妊娠中から医療機関に連絡するなど、情報収集と共有及び支援に努めました。 | 未熟児等は文書で連絡票が送付されますが、市内医療機関からは退院連絡票という形式ではなく、電話で連絡が入ることも増えています。 | 22 | B | 30 | 30 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|------------------------------|--|----|---------------------------|--------|---|---------------|------|------------------------|----|--|--|-------|---------|-------|------|--------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 61 | 2・安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり | 2-1母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進 ①母子保健制度の充実 | 42 | 要指導児に対するフォローの充実 | 健康推進課 | 乳幼児健診等において要経過観察となった児の健診結果について、小児科医と共有するための会議を開催し、乳幼児の健全な発育のための検討を行います。 | 会議回数 | 3 | 3 | 回 | 定期的に小児科医等との会議を開催し、情報共有に努めました。 | 年間の回数が3回であるため1回あたりに検討する件数が多くなっています。 | 3 | A | 3 | 3 | |
| 62 | | | 42 | 歯の健康づくりの充実 | 健康推進課 | ・1歳6か月児健診、3歳児健診時に、歯科健診と歯科衛生士による歯磨きの指導を行います。また、乳幼児相談等の機会を利用して口腔衛生についての指導を行い、保護者の意識の向上につなげます。 ・母子健康手帳交付時に、口腔衛生についての指導を行い、妊娠期から意識づけを行います。 | 3歳健診で虫歯のない子の率 | 81 | 80 | % | 幼児健診時に歯科健診と歯科保健指導を実施し意識向上に努めています。また、母子健康手帳交付時にも口腔保健について指導を行いました。 | 乳幼児期からの口腔ケアは重要であるため、継続して取り組みます。 | 81 | AA | 85 | 85 | |
| 63 | | | 42 | 乳幼児事故防止の啓発 | 健康推進課 | ・母子健康手帳交付時等に事故予防に関するパンフレットを配布します。幼児健診時や乳幼児相談時にも、月齢に応じたパンフレットの配布や指導を行うなど、啓発に努めます。また、赤ちゃん訪問時も県作成のパンフレットを配布します。 | 配布数 | 657 | 1,260 | 部 | 母子健康手帳交付時とこにちは赤ちゃん訪問時に事故予防に関するパンフレットを配布し、早期から事故予防啓発に努めました。 | 事故予防については各相談や教室のときにも啓発に努めます。 | 1,242 | B | 1,200 | 600 | 平成30年度からは、赤ちゃん訪問時のみで配布予定 |
| 64 | | | 42 | 予防接種の必要性を啓発するためのパンフレットの配布 | 健康推進課 | ・出生届出時等に予防接種パンフレットの配布を行うなど、予防接種の必要性や正しい知識の普及と啓発を行います。 | 配布数 | 625 | 650 | 部 | 出生時に予防接種パンフレットの配布を行い、普及啓発に努めました。 | 里帰り等で訪問時期が遅くなる場合は、出生後電話をかけたときに簡単に説明を行いません。 | 591 | B | 600 | 600 | |
| 65 | | | 42 | 子育て支援ヘルパー派遣事業 | こども未来課 | 産前・産後で心身の負担の大きい時期に母親の体調不良等により、家事や育児が困難な家庭にヘルパーを派遣します。 | 延利用者数 | — | 20 | 人 | 先進地の制度調査や関係機関との調整に時間を要したため、今年度は実施できませんでした。 | — | — | E | 5 | 5 | 新規 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|---|------|----|-------------------------|--------|---|-----------|------|------------------------|------|---|--|------|---------|-----|------|---------------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 66 | 2安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり 2-1母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進 ②からだ育て・食育の推進 | | 42 | 保育所（園）・幼稚園での「からだそだて」の実施 | 保育幼稚園課 | ・保育所（園）や幼稚園で、子どもの身体感覚を高めるための保育内容を検討し実施します。運動プログラムの作成、遊具等の整備を行います。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所（園） | 「からだそだて」を実施するため、「伊賀市版幼児の体力向上実践プログラムにんにんタイム」を引き続き各保育所（園）で実践しました。 ・プロジェクト会議2回 ・運動能力テスト5園各2回 ・保護者対象アンケート調査2回 ・職員対象アンケート調査 ・職員研修会8/3 ・子育て講演会2/19 ・外部講師による「にんにんタイム」遊びの指導16園 ・「にんにんタイム」実践指導訪問 公立18園 | 各保育所（園）で基本的に毎日「にんにんタイム」を実施するなかで、保護者や職員のアンケート結果から、こどもたちの様子に良い変化が見られました。継続することが重要であり、子どもの発達・成長に成果が現れるよう現在の取組内容を基に各保育所（園）で工夫をし取り組む必要があります。また、あそびの指導を外部講師を招きしてもらつ事で日々の指導に広がりがみられました。 | 32 | A | 31 | 31 | 保育所の再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |
| 67 | | | 42 | 保育所（園）・幼稚園での「からだそだて」の実施 | 学校教育課 | ・幼稚園で、子どもの身体感覚を高めるための活動を実施します。 | 活動時間数 | 182 | 180 | 時間 | 毎日1時間を目安に身体を動かして遊びました。 | 身体を動かして遊ぶことが楽しいと思う子が増えています。 | 168 | B | 175 | 180 | |
| 68 | | | 42 | 妊産婦に対する食事指導の実施 | 健康推進課 | ・母子健康手帳交付時に、食事に関するパンフレットを配布します。必要に応じて電話、訪問等による食事指導も行います。 | パンフレット配布数 | 657 | 660 | 部 | 母子健康手帳交付時に食事に関するパンフレットを配布しました。 | 妊娠中はつわりや体重管理等食事に関する悩みも多いため、継続して取り組みます。 | 617 | B | 600 | 600 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | | |
|----|-----------------------------|--------------------------|--------------|-----|-------------------------------|------------------|---|------|------------------------|-------|---------|--|---|---------|----|-------|-------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 | |
| 69 | 2安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり | 2-1母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進 | ②からだ育て・食育の推進 | 42 | 離乳食教室の開催 | 健康推進課 | ・離乳食教室を前期・後期にわけて開催します。教室では、調理実習を取り入れ、離乳食の実際についてより具体的に学べるようにします。また、離乳食の調理を見学しながら、学ぶ教室も実施しています。 | 参加者数 | 149 | 160 | 人 | 調理実習を取り入れた教室と、説明のみの教室と実施し毎月1回実施しました。 | 調理実習の参加希望が多く定員を超える場合もあります。 | 146 | B | 160 | 180 | |
| 70 | | | | 42 | 栄養相談・指導の充実 | 健康推進課 | ・乳幼児相談や幼児健診時に、栄養士による栄養相談・指導を行います。随時電話相談等も実施します。 | 相談件数 | 1,053 | 1,200 | 件 | 乳幼児相談や健診時、また随時栄養士による相談・保健指導を実施しました。 | 子どもの月齢に応じた食事は発育発達にも大切であるため、継続して取り組みます。 | 1,208 | AA | 1,200 | 1,300 | |
| 71 | | | | 42 | 食育・運動教室の実施 | こども未来課 | 子育て包括支援センターにおいて、食育を年間教室スケジュールに組み入れ、継続的に支援を行ないます。 | 回数 | 12 | 85 | 回 | 毎月の子育て支援事業の中で栄養士の講話、親子で体を動かす体操などを取り入れました。 | 継続して取り組みます。 | 96 | AA | 96 | 96 | |
| 72 | | | | 43 | 小中学校における食に関する指導計画の作成・実践 | 学校教育課 | ・全小中学校で食に関する指導計画を作成し、実践します。 ・児童生徒の実態に応じた食に関する指導を、系統的に進めます。 | 校数 | 32 | 31 | 校 | 食に関する指導計画を作成し、食育を進めました。 | 食について、興味関心をもつとともに、自分の食生活について考えることができました。 | 31 | A | 31 | 31 | |
| 73 | | | | 43 | 「食育」を意識した保育所(園)、幼稚園、学校での給食の充実 | 保育幼稚園課 | ・食事の大切さを身に付けるため、栄養3色板などを活用し、食に興味を持つよう日々の保育のなかで取り組みます。 ・地場産食材をできる限り使用し、児童・生徒に食材を通して地域の自然や文化への理解を深めます。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所(園) | 栄養3色板などを利用して食に興味・関心を持つようにしました。保育所(園)の畑やプランターで野菜を育て収穫したものを給食で食べました。 | 3色板などを利用した取組を通して様々な食材に興味・関心もち食べることへの意欲につながりました。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |
| 74 | | | | 43 | 「食育」を意識した保育所(園)、幼稚園、学校での給食の充実 | 学校教育課 | 食事の大切さを身に付けるため、栄養3色板などを活用し、食に興味を持つよう日々の保育のなかで食に関する体験活動に取り組みます。 | 回数 | 3 | 3 | 回 | 園の畑やプランターで野菜を育て、収穫した野菜を使って調理して食べました。 | 今まで口にしようとしなかった食材も食べてみようという意欲につながりました。 | 3 | A | 3 | 3 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | | | | | |
|----|------------------------------|-----------------|---------------|------------------------------|-----------------|------------------|--|----------|------------------------|---|---------|---|---|---------|---|--|------|---|-----|-----|------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 | | | | |
| 75 | 2・安心して子どもを産み育てられる子育て支援の体制づくり | 2-2 小児救急医療体制の充実 | ① 小児救急医療体制の充実 | 44 | 伊賀地域救急医療体制 | 医療福祉政策課 | ・入院を必要とする小児二次救急については、市内の総合病院で年間を通じての診療体制を維持します。 | 指標化できない | — | — | — | 入院を必要とする小児二次救急維持のため、24時間365日対応している岡波総合病院への運営補助を行いました。 | 小児の二次救急医療体制を維持しました。 | — | — | — | — | | | | |
| 76 | | | | 44 | 伊賀市応急診療所の運営 | 医療福祉政策課 | ・夜間・休日における、比較的軽症な方を対象とした一次救急（小児・一般）を行います。 | 指標化できない | — | — | — | 受診者数（小児科） 2,920人 うち二次搬送 72人 運営検討会 2回開催 | 小児の一次救急医療体制を維持しました。 | — | — | — | — | | | | |
| 77 | | | | 44 | 地域医療体制の充実 | 医療福祉政策課 | ・地域医療体制の充実を図り、地域で安心して子育てのできる医療体制を進めています。 | 小児医療機関 | 15 | 15 | 機関 | 伊賀医師会等との連携の下、地域で安心して子育てのできる医療体制の維持に努めました。 | 上野総合市民病院小児科の休診など、医師確保が非常に難しい状況にあります。 | 15 | A | 15 | 15 | | | | |
| 78 | | | | 44 | 小児医療に関する情報提供の充実 | 医療福祉政策課 | 小児医療に関する情報及び地域救急医療情報センターや、救急医療情報システムなどの救急医療情報について、ホームページに掲載します。また、出生時に配布する冊子に記載することで周知に努めます。 | 掲載 | 常時 | 常時 | — | 小児救急医療情報等について、ホームページに掲載するとともに、出生時や転入時に周知するための情報提供を行いました。 | 子育て家庭などに対して、今後も継続的に周知を行う必要があります。 | 常時 | A | 常時 | 常時 | | | | |
| 79 | | | | 44 | 小児医療に関する情報提供の充実 | 健康推進課 | ・小児医療に関する情報及び地域救急医療情報センターや、救急医療情報システムなどの救急医療情報について、チラシ配布や出生届時に配布する冊子に記載することで周知に努めます。 | 配布数 | 625 | 660 | 部 | 小児医療に関するチラシを出生届出に配布し啓発に努めました。 | 子どもの急な病気に対応するため、継続して取り組みます。 | 591 | B | 600 | 600 | | | | |
| 80 | | | | 44 | 伊賀市救急相談ダイヤル24 | 医療福祉政策課 | ・24時間体制で救急相談を受け付けるシステムを実施するとともに、周知に努めます。 | 指標化できない | — | — | — | 伊賀市救急相談ダイヤル事業を実施（委託）し、各種相談を受け付けました。毎月広報1日号に電話番号等案内を掲載し周知に努めました。小児に関する相談件数1,841件 | 救急だけでなく健康に関する相談機能もあることから、「伊賀市救急・健康相談ダイヤル24」と名称変更を行い、さらに周知する必要があります。 | — | — | — | — | | | | |
| 81 | | | | 2・安心して子どもを産み育てられる子育て支援の体制づくり | 2-3 子育ての相談・支援 | ① 子育ての相談・支援 | 45 | 子育て相談の充実 | こども未来課 | ・保育所（園）、子育て包括支援センター、子育て支援センター（市内7か所）において、子育て中の保護者からの健康やしつけ等に関する相談、育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行います。 | 延相談件数 | 1,038 | 1,300 | 件 | 子育て中の保護者からの健康やしつけ等に関する相談、育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行いました。 | 子どもとの遊びを通じて保護者の不安などを聞き出す機会が増えている。必要がある場合には専門機関へ繋がりました。 | 666 | C | 700 | 700 | 下方修正 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|--|---------------------------------|-----------------------|----|----------|--------|---|---------|-------|------------------------|----|---|--|-------|---------|-------|-------|------|
| | | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 82 | 主 み 育 て ら れ る 子 育 て 支 援 の 体 制 づ くり | 又 援 体 制 の 充 実 | 体 制 の 充 実 | 45 | 子育て相談の充実 | 学校教育課 | ・幼稚園において、子育て中の保護者からの健康やしつけ等に関する相談、育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行います。 | 講演会参加者数 | 133 | 100 | 人 | 子育て講演会を実施しました。 | 講演会の中で子どもと一緒に活動する時間を取り入れた事で、参加者が増え、一緒に考えることができました。 | 79 | B | 95 | 110 | |
| 83 | | | | 45 | 子育て相談の充実 | こども未来課 | 家庭児童相談室等において、子育て中の保護者からの健康やしつけ等に関する相談、育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行います。 | 延相談件数 | 2,086 | 2,000 | 件 | *保育所(園)、幼稚園、子育て包括支援センター、子育て支援センター（市内8か所）、家庭児童相談室等において、子育て中の保護者からの健康やしつけ等に関する相談、育児についての不安や悩み・疑問などに関して、相談、支援を行いました。 | 家庭における育児の不安や悩み・疑問の解消に寄与し、虐待などの危険を未然に防ぐことができます。 | 2,342 | AA | 2,000 | 2,000 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|------------------------------|-------------------------------------|----|-------------------|------------|--|-------------|------|------------------------|------|--|---|------|---------|----|------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 84 | 2・安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり | 2-4 家庭や地域の教育力の向上 ①子育ての相談・支援体制の充実 | 45 | 福祉総合相談支援事業 | 福祉相談調整課 | 各支援機関のみでの対応が困難であったり、他分野にわたる支援が必要なケースについて、必要に応じ地域の支援者も含めた関係機関が集まり、会議を開催します。個別の事例について事例検討を行い、役割分担を明確 | 開催回数 | 98 | 100 | 回 | 地域ケア会議において、支援困難事例を各地域で取り組み、支援の役割を明確にする等検討しました。 | 支所開催の地域ケア会議の運営が円滑に進むよう今後も専門職の後方支援を続けていきます。 | 69 | C | 80 | 80 | 相談事案調整会議地域ケア会議開催の回数(下方修正) |
| 85 | | | 45 | 福祉総合相談支援事業 | 地域包括支援センター | ・子ども、高齢者、障がい者等が住み慣れた地域で安心して生活するため、身近なところで、専門職が迅速かつ適切な相談支援を行います。 | 子どもに関する相談件数 | 9 | 20 | 件 | ・子ども、高齢者、障がい者等が住み慣れた地域で安心して生活するため、身近なところで、専門職が迅速かつ適切な相談支援を行いました。 | 複合的な問題(介護、子ども、障がい、生活困窮など)を抱えている家族が増加しており、一次相談窓口として活用いただいた。 | 10 | C | 20 | 30 | 28年度は、子どもの問題を含む相談件数が少なかった。 |
| 86 | | | 45 | 子育て情報の収集・提供 | こども未来課 | ・市民が求める子育て支援情報を的確に把握し、毎月開催される子育て支援センター事業などを市広報、ホームページ、ケーブルテレビ等により効果的に情報提供を行います。また、官民協働により、市民に分かりやすいWEBサイトを使った情報の公開に努めます。 | 回数 | 49 | 50 | 回 | 子育て支援センターの遊びの教室内容や開設日・時間等を広報いが市に掲載しました。 | 広報いが市毎月15日号に掲載、子育て通信の発行、ホームページ、フェイスブックを活用した情報提供を行いました。 | 30 | C | 40 | 50 | |
| 87 | | | 45 | 子育て情報の収集・提供 | 上野公民館 | ・情報誌を発行し、保育所(園)、幼稚園、小学校を通じて配布します。 | 発行回数 | 3 | 3 | 回 | 伊賀市PTA連合会へ委託して年3回発行しました。 | 市内全園児・全児童に配布されますので、子ども情報ツールとしては効果的です。また、今年度紙面の見直しを行い、これまで以上に幅広い団体の情報を掲載し発信することができました。 | 3 | A | 3 | 3 | |
| 88 | | | 46 | 保育所(園)の園庭や保育室等の開放 | 保育幼稚園課 | ・可能な限り園庭や保育室等の開放を行い、子育ての仲間づくりの場として役割を担います。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所(園) | 園庭開放・空き保育室等の開放を行い、子育ての仲間づくりの場として提供しました。 | 園庭や保育室等の開放をとおして保護者同士が気軽に話せる場となりました。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|------------------------------|----------------------------------|----|-------------|------------|---|------|------|------------------------|----|---|---|------|---------|-----|------|------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 89 | 2・安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり | 2-4 家庭や地域の教育力の向上 ①子どもの活動機会の充実 | 46 | 体験活動、勤労体験活動 | 学校教育課 | ・小学校におけるさまざまな体験活動や、中学校における勤労体験活動（職場体験）など地域と連携しながらの活動を通して、社会性や連帯性など児童生徒の心の育成を図ります。 | 実施校数 | 30 | 31 | 校 | 地域の方をゲストティーチャーとして招き、体験活動を行ったり、中学校では、地域と連携し職場体験学習を行ったりしました。 | 講座への参加者は年々増加しています。年度途中に増える希望者への対応が必要です。 | 31 | A | 31 | 31 | |
| 90 | | | 46 | 体験活動、勤労体験活動 | 上野図書館（各分館） | 夏休みや休日を利用して、工作や自由研究の取り組み方の講座を開催します。 | 回数 | 4 | 6 | 回 | 【上野図書館】三重県上野森林公園と連携して「図書館で調べてみる」へ導くことを目的に『おもしろ自然教室』を開催し、自然科学への興味を深める子どもの育成を図りました。 【大山田図書室】夏休みと冬休みの小学生向けの読み聞かせ会の後にオリジナルブックカバー作りなどの工作や、レクリエーション遊びをしました。 【青山図書室】夏休みを利用して、図書室を利用した調べ学習の推進、創造力を育てる、居場所づくりの事業として、『夏休みの自由研究をしよう!! 俳句に挑戦』や『夏休みの自由研究をしよう!! 作ってみよう』などを開催しました。 | 【上野図書館】子どもたちを年齢に応じて班分けし、森林公園での体験活動から行政バスでの移動、図書館での標本づくりまで、子どもたちの自主性を伸ばしつつ体験活動を行うことができました。小学校を通じ市内の全児童にちらしにて周知を図りましたが案外参加者が少ないため、図書館（室）が子どもたちの体験活動を支援できる場所であることを保護者へ啓発していく必要があります。 【青山図書室】資料を使った『自由研究』への取り組む機会が少なくなってきたため、図書室が積極的にその方法を体験する機会を提供することで、“楽しい”を感じてもらうことが出来、今後へのつながりが期待できました。 | 8 | AA | 3 | 3 | 下方修正 |
| 91 | | | 46 | 子育て講座の開催 | こども未来課 | ・子育て支援センターが主催する講座を通じ、保護者と子どもがともに楽しめる機会を提供することで、保護者の育児不安の軽減を図り、家庭保育の充実につながる支援をします。 | 回数 | 598 | 525 | 回 | 食育教室、運動あそび、離乳食教室、読み聞かせ等の講座開催しました。 | 子育て支援センターで実施する教室を通じ、子育ての不安軽減を図り、家庭での保育が充実できるよう支援しました。 | 621 | AA | 525 | 525 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|----|------------------------------|---------------------------------|----|---------------------------------------|--------|--|-----|------|------------------------|------|---|---|------|---------|----|------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 92 | 2.安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり | 2-4 家庭や地域の教育力の向上 ②保護者への学びの支援 | 47 | 子育てサポーター養成講座の開催 | こども未来課 | ・地域住民が子育て支援活動に参加できるよう養成講座を開催し、地域における子育て支援活動を支える人材の育成に努めます。 | 回数 | 5 | 2 | 回 | 子育て包括支援センターにおいて、子育て支援を支える人材の育成の研修に努めました。 | 子育てマイスター養成講座は開催できませんでしたが、地元の高校生と交流会を開催しました。自分の住む地域の子育ての資源を知ってもらうことができ、地域を支える人材の育成ができました。 | 1 | C | 1 | 2 | |
| 93 | | | 47 | 家庭教育に関する講演会や研修会の開催 | 生涯学習課 | ・家庭教育に関する講座などを実施します。 | 回数 | 1 | 1 | 回 | 社会教育委員との共催で「子どもについて一緒に考える集い」を平成29年2月19日（日）に開催しました。 | 保護者同士の交流を通じて、子育てや家庭教育に関する知識や理解を深めることができました。前年度と同じ講師にすることで子育ての相談をする保護者もいました。 | 1 | A | 1 | 2 | |
| 94 | | | 47 | 子育て支援についての講演会・研修会等の開催 | こども未来課 | ・子育てや子育て支援について考える講演会や研修会を開催します。 | 回数 | 3 | 1 | 回 | 子育て支援に関する講演会を開催するため、講師選定などの準備を行いました。 | 参加者を増やすための啓発が課題です。 | 1 | A | 1 | 1 | |
| 95 | | | 47 | 父親の子育て参加を促す教室・講座・講演会などの開催 | 保育幼稚園課 | ・父親が子育てに参加しやすいよう、保育所（園）の行事を工夫したり講演会などを開催します。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所（園） | 父親が子育てに参加しやすいような運動あそびなどの内容で行事や講演会を行いました。 | 参加しやすい内容の検討や啓発が課題です。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |
| 96 | | | 47 | 父親の子育て参加を促す教室・講座・講演会などの開催 | 上野図書館 | ・父親の子育て参加を促すため、親子で参加する工作や自然体験教室を開催します。 | 回数 | 1 | 1 | 回 | 「本好きの子どもに育てたい保護者のための講演会」として、保護者が子ども連れで参加できるよう配慮した読み聞かせ講座を行いました。 | 参加しやすい内容の検討や啓発の課題がありますが、子どもと本を楽しむことの大切さやおもしろさを実感していただくことができました。家族連れでの参加者が目立ち、父親が子どもへの読み聞かせに関心をもってきていることを確認することができました。 | 1 | A | — | — | 終了 |
| 97 | | | 47 | 保育所（園）や幼稚園、小学校等を通じた、健康や子育てに関するおたよりの配布 | 保育幼稚園課 | ・「保育所（園）だより」「保健だより」等を通して、各家庭に対して子育てや健康に関する情報を提供できるよう努めます。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所（園） | 「保育所（園）だより」「保健だより」「食事だより」を毎月発行し、子育てや健康等について情報を提供しました。 | 保護者が見やすい、知りたい内容・情報を伝えられるように工夫する必要があります。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |
| 98 | | | 47 | 保育所（園）や幼稚園、小学校等を通じた、健康や子育てに関するおたよりの配布 | 学校教育課 | ・「園だより」「保健だより」等を通して、各家庭に対して子育てや健康に関する情報を提供できるよう努めます。 | 回数 | 86 | 80 | 回 | 「園だより」「学年だより」「保健だより」を発行し、子どもの様子や子育て、生活習慣・健康等について伝えました。 | 保護者が知りたい情報をタイムリーに伝えられるように工夫する必要があります。 | 73 | B | 80 | 80 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|-----|------------------------------|----------------------------------|----|-------------------|------------|--|-----|------|------------------------|----|---|--|------|---------|-----|------|-----------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 99 | 2.安心して子どもを生み育てられる子育て支援の体制づくり | 2-4 家庭や地域の教育力の向上 ② 保護者への学びの支援 | 47 | 図書館の子ども向け図書の実践 | 上野図書館(各分館) | 保護者に読書の大切さを理解してもらい、乳幼児期から本に親しむきっかけをつくるため、読み聞かせボランティアと連携して読み聞かせ会を開催します。また、家庭での読書支援のための絵本や児童書コーナーの充実を図るとともに、特集の実施や情報提供を行います。 | 回数 | 265 | 160 | 回 | 乳幼児期から本に親しむきっかけをつくるため、読み聞かせボランティアと連携して、読み聞かせ会や小学校にて出張ブックトークを開催しました。小学校の朝読での読み聞かせ会の開催も定着してきており、楽しんで聴く子どもたちの姿も確立できてきています。 | 乳幼児期から本に親しむ機会を提供することで、幼い頃から継続して図書館(室)を利用する親子が増えつつあります。特に赤ちゃん連れの読み聞かせ会は、子育て支援サークルなどからの情報提供もあり、収容可能人数を常に超えています。図書館のハード面が充実していないことで参加者に満足できる環境を整えられないことが課題でもあります。 | 212 | AA | 160 | 160 | |
| 100 | | | 47 | 読み聞かせボランティアの育成・支援 | 上野図書館(各分館) | 市内の読み聞かせボランティアグループと図書館(室)の情報交換会や勉強会を開催し、地域グループ間の連携と情報共有を図ります。また、図書館(室)が協力できることを整理し、活動を円滑に行えるよう支援します。 | 回数 | 1 | 1 | 回 | 市内の読み聞かせボランティアグループと図書館(室)の情報交換を兼ね、「読み聞かせ」の講演会と情報交換会を行いました。 | 市内のボランティアグループと図書館(室)が情報交換や勉強会を行うことにより、地域間の情報共有と会員のスキルアップを図ることができました。保育所(園)や小学校からの読み聞かせ派遣依頼も増加してきているため、図書館(室)が調整やアドバイスをしつつ、より良い読み聞かせの環境を整えられるよう支援していくことが必要です。 | 2 | AA | 1 | 2 | |
| 101 | | | 47 | ブックスタート事業の推進 | 健康推進課 | ・こんにちは赤ちゃん訪問時に、図書館情報や絵本の紹介とともに絵本を配布し、読み聞かせの大切さを伝えていきます。 | 配布数 | 614 | 630 | 件 | こんにちは赤ちゃん訪問時に絵本の紹介や読み聞かせの大切さを伝え、絵本をプレゼントしました。 | 読み聞かせの大切さと絵本の案内を伝えました。 | 625 | B | — | — | 平成28年度で終了 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 |
|----|------|------|---|-----|-------|------------------|----|------|------------------------|----|---------|----------|------|---------|----|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | |

3.子どもの健全育成を推進するための体制づくり

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------------------------|----------------|----------------------|----|-----------------|---------|---|---------|-------|-------|---|--|--|-------|----|-------|-------|---|
| 102 | 3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり | 3-1子どもの人権擁護の推進 | ①子どもも参加できる地域・社会環境づくり | 48 | 子ども会活動の育成支援 | 上野公民館 | ・青少年健全育成のための諸活動を行い、子ども会連合会を育成します。具体的には、卓球大会・球技大会・自然体験学習・ミステリーバス・リーダー研修・子どもフェスタを行います。 | 延事業参加者数 | 1,550 | 1,600 | 人 | 参加者数：①卓球大会233人 ②球技大会169人(野球9チーム・ソフトバレーボール7チーム) ③自然体験学習23人 ④リーダー研修会32人 ⑤ミステリー列車315人 ⑥わくわく子どもフェスタ1,275人 | 子ども会活動の普及拡大には必要不可欠な事業ですが、参加者が年々減少しており、組織や事業形態の見直しを検討しました。その成果として、ミステリーバスから列車に戻したことで参加者が増えました。 | 2,047 | AA | 1,700 | 2,500 | |
| 103 | | | | 48 | 地域の伝統芸能・文化活動の支援 | いがまち公民館 | ・伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。具体的には、都美恵太鼓の継承活動の支援を行います。 | 延事業参加者数 | 1,615 | 1,650 | 人 | 「都美恵の里郷土芸能保存会・都美恵太鼓」の練習参加や地域行事での太鼓演奏を通して、郷土芸能の継承と郷土文化に愛着を持ち、感性豊かな子どもを育成する活動を支援しました。 | 子ども達は太鼓演奏を通して郷土文化・芸能の素晴らしさと仲間づくりの大切さを実感し、地域活動参加への足掛りとしています。公共施設最適化により現在の活動拠点を無くす予定のため、太鼓の保管場所や練習場所の確保が課題となっています。 | 1,812 | A | 1,850 | 1,850 | |
| 104 | | | | 48 | 地域の伝統芸能・文化活動の支援 | 島ヶ原公民館 | ・伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。具体的には、獅子神楽の継承活動の支援を行います。 | 延事業参加者数 | 40 | 40 | 人 | 獅子神楽の継承活動を行いました。(10/22,26,29,30 延べ65名 11/3 60名参加) | 地域に根ざし、地域から支援いただくようになってきています。また子どもたちが参加するようになってきています。 | 125 | AA | 60 | 60 | |
| 105 | | | | 48 | 地域の伝統芸能・文化活動の支援 | 大山田公民館 | ・伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。具体的には大山田むらびとづくり推進会議が行う「むらびと塾」の支援を行います。 | 延事業参加者数 | 60 | 80 | 人 | 9月3日に第1回むらびと塾「関空へ行こう！」(関西空港の裏側探検)を開催しました。第2回目は、12月3日に「四日市へ行こう！」を開催し、公害や環境について学びました。第3回目は、3月25日に「読み聞かせ会&ワッフル作り」を開催しました。 | 親子で参加し、地域文化を学ぶことが期待できます。 | 51 | C | 60 | 80 | |
| 106 | | | | 48 | 地域の伝統芸能・文化活動の支援 | 青山公民館 | ・伝統芸能の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成を図ります。具体的には、地域の方を指導者とした「竹細工体験」の実施や、伊賀を代表する松尾芭蕉の文学を継承するため俳句教室の実施などを開催します。 | 延事業参加者数 | 252 | 150 | 人 | 『夏休み子ども体験講座』(俳句講座他)を開催しました。 開催日：7月26日 7月27日 7月28日 参加者数：47人 『地域学習講座 青山小学校紙芝居』を開催しました。 開催日：9月2日 参加者数：416人 『里山体験事業 ティキャンプ』を開催しました。 開催日：7月24日 参加者数：34人 | 親子で参加ができ、地域の文化継承、世代間交流・他地域間交流・地域と学校の交流に繋がる効果が期待できます。 | 497 | AA | 150 | 150 | 一昨年度まで実施していた事業(市民の自主活動の定着)がみられたため、事業内容を変更します。ついては事業に基づく参加者数の算定のため目標値を下げることをします。 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | | |
|-----|-------------------------|----------------|----------------------|-----|---------------------|------------------|---|---------|------------------------|-----|---------|--|--|---------|----|------|------|-------------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 | |
| 107 | 3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり | 3-1子どもの人権擁護の推進 | ①子どもも参加できる地域・社会環境づくり | 48 | 体験活動を通じた子ども自身の活動の支援 | 上野公民館 | ・社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう支援します。具体的には、上野児童福祉会が行う「ふるさと学習会」の支援を行います。 | 延事業参加者数 | 109 | 120 | 人 | 参加者数 第1回：中止 第2回：忍者について学ぶ13人 第3回：岩倉峡キャンプ17人 第4回：森林公園で遊ぶ11人 第5回：環境学習13人 第6回：一之宮探検8人 第7回：民話に親しむ5人 第8回：伝統工芸9人 第9回：まちかど博物館を訪ねる12人 | ふるさと教育を推進するにあたり必要不可欠な事業ですが、参加者が年々減少しており、事業内容や周知方法の見直しが必要です。第1回が都合により中止となり、参加者数が減りましたが、次年度は目標を達成できるよう頑張ります。 | 88 | B | 70 | 100 | 29年度より回数を7回に減らして実施します。 |
| 108 | | | | 48 | 体験活動を通じた子ども自身の活動の支援 | いがまち公民館 | ・社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう支援します。具体的には、公民館が行う「みんな集合！こども体験教室」いがまち青少年育てる会が行う「青少年体験教室」の支援を行います。 | 延事業参加者数 | 264 | 270 | 人 | こども体験教室は全8回。サンタのパンやかぼちゃなど料理、体操、礼法、環境学習などを行いました。青少年体験教室は夏休みに南伊勢町の体験ワールドで鯛のえさやりなど。冬はスケート教室を開催されました。 | 育てる会には市の補助があり、青少年体験教室は内容や参加対象者の範囲を拡大するなど事業内容の検討が必要。 | 209 | B | 250 | 270 | |
| 109 | | | | 48 | 体験活動を通じた子ども自身の活動の支援 | 島ヶ原公民館 | ・社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう支援します。具体的には、竹灯りの宴への参加と行灯の出展を行います。 | 延事業参加者数 | 62 | 60 | 人 | 竹灯りの宴事業への小・中・高校生の参加・事前の行灯づくり7/30 32名 8/24 28名・当日 60名参加 | 地域の伝統行事等に参加し、自ら体験することにより地域社会とのかかわりを深め、豊かな心をはぐくみたいと考えています。 | 120 | AA | 60 | 60 | |
| 110 | | | | 48 | 体験活動を通じた子ども自身の活動の支援 | 阿山公民館 | ・社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう支援します。具体的には、こどもちゃれんじ教室を開催します。 | 延事業参加者数 | 200 | 140 | 人 | 参加者数 第1回：木工教室28人 第2回：加・ポト教室16人(大人12人) 第3回：工作教室23人 第4回：そば打ち体験教室18人 第5回：森林教室14人 第6回：ちぎり絵教室12人 第7回：星たまごプラネタリウム23人 第8回：おやつづくり教室24人 | 親子で参加するものも含め、年間を通してバラエティーに富んだメニューで実施していますが、子どもの数自体が減ってきているため教室内容や周知方法等を見直す必要があります。 | 158 | AA | 180 | 200 | |
| 111 | | | | 48 | 体験活動を通じた子ども自身の活動の支援 | 大山田公民館 | ・社会とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう支援します。具体的には、夏休み・冬休み子ども公民館教室を開催します。 | 延事業参加者数 | 176 | 180 | 人 | 夏休み・冬休み子ども公民館教室を実施しました。タイルクラフト：48人、香りのせっけんねんど：21人、星たまごのプラネタリウム：37人、おはなしくらぶ：夏30人、冬19人、化石発掘体験会：22人、オオサンショウウオ観察会：36人 | 親子で参加する教室もあり、体験を通して共に学ぶことができました。 | 213 | AA | 220 | 230 | 31年度目標値190を達成したため、目標値を見直しました。 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|-----|-------------------------|--|----|---------------------------------|--------|--|---------|------|------------------------|----|--|--|------|---------|-----|------|---|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 112 | 3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり | 3-1子どもの人権擁護の推進 ①子どもも参加できる地域・社会環境づくり | 48 | 体験活動を通じた子ども自身の活動の支援 | 青山公民館 | ・地域とのかかわりを深め、子ども自らが豊かな人間性を育てられるよう、子どもたち自身が遊びや行事の企画ができるよう支援します。具体的には、青少年育成との連携による「田植え体験」、「稲刈り体験」を行い、地域とのふれあいを大切にしたい講座を実施し、体験の機会を提供します。 | 延事業参加者数 | 190 | 190 | 人 | 「田植え体験」を開催しました。 開催日：5月8日 参加者数：57人 「稲刈り体験」を開催しました。 開催日：9月11日 参加者数：46人 「千本杵つき体験」を開催しました。 開催日：3月19日 参加者：34人 | 親子で参加ができ、地域の文化継承、世代間交流・他地域間交流に繋がる効果が期待できます。 | 137 | B | 140 | 140 | 昨年度まで実施していた事業に一定の成果（市民の自主活動の定着）がみられたため、事業内容を変更します。については事業に基づく参加者数の算定のため目標数を下げることとします。 |
| 113 | | | 49 | 児童虐待・DV防止のための関係機関の連携強化 | こども未来課 | ・「伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会」を設置し、要保護児童や特定妊婦等の早期発見や適切な支援を図り、DV被害者への適切な対応を行うため、代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会を実施し、児童相談所、警察署、民生委員・児童委員、保育所(園)、幼稚園、学校等の関係機関との連携を強化します。 | 会議回数 | 30 | 20 | 回 | 「伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会」を設置し、要保護児童や特定妊婦等の早期発見や適切な支援を図り、DV被害者への適切な対応を行うため、代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会を実施し、児童相談所、警察署、民生委員・児童委員、保育所(園)、幼稚園、学校等の関係機関との連携を強化しました。 | 児童虐待やDVに深く関わる機関が連携する場を提供することにより、迅速で効果的な支援につなぐことができます。 | 13 | C | 15 | 20 | |
| 114 | | | 49 | 児童虐待・DVネットワーク会議を活用した講演会や研修会等の開催 | こども未来課 | ・伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会主催により、講演会や研修会を開催し、情報の共有や意識の向上を図り、児童虐待やDVの発生予防、早期発見に努めます。 | 研修回数 | 1 | 1 | 回 | 伊賀市要保護児童及びDV対策地域協議会主催により、講演会や研修会を開催し、情報の共有や意識の向上を図り、児童虐待やDVの発生予防、早期発見に努めました。 | 児童虐待やDVに深く関わる機関が連携しながら研修を積むことで、発生予防、早期発見が期待できます。 | 1 | A | 1 | 1 | |
| 115 | | | 49 | 家庭児童相談事業 | こども未来課 | ・家庭児童相談員2名を配置し、子育てに悩みを抱えた親からの相談を受けます。また、学校や保育所(園)、幼稚園等からの相談や、子育て支援事業等を実施するなかで得た情報により、児童相談所や保育所(園)、幼稚園、学校、保健師などと連携を密にし、適切な支援に努めます。 ・虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への家庭訪問の充実に努めます。 | 延家庭訪問件数 | 238 | 100 | 件 | 家庭児童相談員2名を配置し、子育てに悩みを抱えた親からの相談を受けました。また、学校や保育所(園)、幼稚園等からの相談や、子育て支援事業等を実施するなかで得た情報により、児童相談所や保育所(園)、幼稚園、学校、保健師などと連携を密にし、適切な支援に努めました。 ・虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への家庭訪問の充実に努めました。 | 虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への家庭訪問を通じて、そのリスクを軽減したり家庭での悩みを解消したりすることに寄与します。 | 284 | AA | 100 | 100 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|-----|-------------------------|---|----|-----------------|--------|---|------------|------|------------------------|----|--|--|------|---------|-----|------|------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 116 | 3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり | 3-1子どもの人権擁護の推進 ②児童虐待防止ネットワーク活動の充実・強化 | 49 | 女性相談事業 | こども未来課 | ・女性相談員1名を配置し、女性が抱える人生のさまざまな悩みや、DVを受けたとき、セクシャルハラスメント、ストーカー被害、法律に関すること、離婚、金銭トラブルなどの相談に対応します。 | 延相談件数 | 262 | 243 | 件 | 女性相談員1名を配置し、女性が抱える人生のさまざまな悩みや、DVを受けたとき、セクシャルハラスメント、ストーカー被害、法律に関すること、離婚、金銭トラブルなどの相談に対応しました。 | 要保護女子の（買春等への）転落防止につながります。また、DV被害者に適切な支援をします。 | 568 | AA | 243 | 243 | |
| 117 | | | 49 | 養育支援訪問事業《再掲》 | 健康推進課 | ・こんにちは赤ちゃん訪問で継続支援が必要と思われる家庭やハイリスク家庭への保健師等による家庭訪問を実施します。また、各機関の連携をより深め、情報の共有を徹底していきます。 | 延訪問件数 | 77 | 120 | 件 | 継続支援が必要なケースに対し、訪問を実施しました。必要に応じ各機関と連携し、情報共有を徹底しました。 | 背景が複雑なケースが増えており、他機関との連携が必要です。 | 98 | B | 110 | 100 | |
| 118 | | | 49 | 里親制度に関する情報提供の充実 | こども未来課 | ・児童相談所と連携し、市広報への掲載やパンフレットの配布等の啓発活動に努めます。 | パンフレット等配布数 | 50 | 50 | 部 | 里親制度についての啓発のため、パンフレットとチラシを窓口を設置する予定で準備しました。また、県主催の里親研修会の開催に協力しました。 | 里親となり得る人を拡大することにより、要保護児童の福祉向上に寄与することができる。 | 50 | A | 50 | 50 | |
| 119 | | | 50 | 療育支援事業の推進 | 保育幼稚園課 | 障がい児保育や乳幼児の療育支援事業の推進を図るため、障がいのある児童が適切な療育や保育が受けられるよう、かしのみ園への入所（通所）の可否等を審査するための判定会を、年2回開催します。 | 指標化できない | 60 | — | 人 | 受入れ児童の判定会を開催するなど、障がい児保育や乳幼児の療育支援事業の推進に取組みました。 | 今後も取組みをすすめていきます。 | 32 | — | — | — | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | | |
|-----|-------------------------|-----------------------------|-------------------|-----|---------------------------------------|------------------|---|-------|------------------------|-------|---------|---|--|---------|----|-------|-------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 | |
| 120 | 3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり | 3-2 要支援児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 | ① 支援を要する子どもへの取り組み | 50 | 療育支援事業の推進 | 障がい福祉課 | 保健・福祉・保育・教育の各担当が情報を共有し、現状把握に努めるため、療養支援担当者連絡会の開催を行います。 | 延利用者数 | 1,084 | 1,000 | 人 | 保健・福祉・保育・教育の各担当が情報を共有し、現状把握に努めるため、療養支援担当者連絡会の開催を行いました。 | 今後も関係機関が情報を共有しながら連携し、体系的な支援に努めました。 | 1,505 | AA | 1,510 | 1,600 | 上方修正 |
| 121 | | | | 51 | 要観察児童、軽度発達障がい児等を対象とした遊びの教室（にこにこ広場）の開催 | 健康推進課 | ・1歳6か月児・3歳児健診等で要経過観察となった幼児を対象に、発達支援教室（にこにこ広場）を実施します。 | 回数 | 68 | 60 | 回 | 月齢に応じ少人数で3クラスに分けて親子のふれあいを通じた教室を実施すると共に、保護者の不安の軽減や気持ちに寄り添うことに努めました。 | 母親の不安軽減と児に応じた支援ができるように、継続して実施します。 | 54 | B | 60 | 60 | |
| 122 | | | | 51 | 伊賀市障がい者相談支援センター事業の充実 | 福祉相談調整課 | ・身体、知的、精神障がいを対象とした、日常生活や福祉サービス利用にかかる相談・調整や支援の充実を図ります。 | 延相談件数 | 7,019 | 7,500 | 件 | 身体、知的、精神障がいを対象とした、日常生活や福祉サービス利用等にかかる相談・調整や支援の充実を図りました。 | 障がいのある人に、さまざまな障害福祉サービス等を知っていただき、必要なサービスの利用について今後もサポートしていきます。 | 6,856 | B | 6,900 | 6,900 | 下方修正 |
| 123 | | | | 51 | 伊賀市子ども発達支援センター事業の充実 | こども未来課 | ・子どもの発達・成長に不安のある保護者や、保育所（園）、幼稚園、小・中学校等からの相談に各関係機関と連携を図りながら、ライフステージに応じた途切れない支援が受けられるように支援していきます。 | 延相談件数 | 1,992 | 2,100 | 件 | 子どもの発達に不安のある保護者や保育所（園）、幼稚園、学校等からの相談に応じ、各機関と連携を図りながら、子どもの発達に応じた支援がでるよう取り組みました。 | 子どもの発達特性に応じた環境設定ができるよう、各機関との連携がさらに必要です。 | 2,059 | B | 2,100 | 2,100 | |
| 124 | | | | 51 | 伊賀市子ども発達支援センター事業の充実 | 保育幼稚園課 | ・子どもの発達・成長に不安のある保護者からの相談に応じ、伊賀市子ども発達支援センターと連携して支援します。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所（園） | 子どもの発達・成長に不安のある保護者からの相談に応じ、適切な支援ができるよう連携を図りました。 | 引き続き連携を図りながら、きめ細やかな支援に取り組みます。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|-----|-------------------------|---|----|-----------------------|--------|---|-------------------|------|------------------------|------|---|--|------|---------|-----|------|------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 125 | 3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり | ①支援を要する子どもへの取り組み 3-2 要支援児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 | 51 | 伊賀市子ども発達支援センター事業の充実 | 健康推進課 | 各関係機関と連携を図りながら、ライフステージに応じた途切れない支援が受けられるように支援するため、発達支援センターと合同勉強会を実施します。 | 発達支援センターと合同勉強会の回数 | 1 | 3 | 回 | 子ども発達支援センターが同じ事務所になったため、そのつど情報交換をおこない、健診の見かたについて研修を実施してもらいました。 | 各事業も連携を図りつつ、引き続き支援が受けられるようにします。意思統一ができるように、定期的に勉強会を行います。 | 2 | B | 2 | 3 | |
| 126 | | | 51 | 保育所（園）における家庭支援推進保育の充実 | 保育幼稚園課 | ・家庭支援推進保育士を継続して配置することにより、日常生活における基本的な生活習慣等について、特に家庭環境に対する配慮を必要とする児童の保育と保護者の支援を行います。 | 箇所数 | 6 | 6 | 所（園） | 家庭支援推進保育士を配置し、家庭訪問や個別の相談時間を設けきめ細やかな対応に努めました。 | 今後も基本的な生活習慣や家庭環境に対する配慮等を行い、きめ細やかな対応が必要です。 | 6 | A | 6 | 6 | |
| 127 | | | 51 | 放課後児童クラブにおける障がい児の受け入れ | 子ども未来課 | ・受け入れについては指導員を配置するなど、安心して利用できるような環境を整えます。 | 指標化できない | 11 | — | 箇所 | 心身に障がいのある児童の受入を推進するために指定管理者と協議を行い、指導員を増員するなど受け入れ態勢を整えました。 | 今後も保護者のニーズを確認しながら必要な児童クラブにおいて取り組みを進めます。 | 13 | — | — | — | |
| 128 | | | 51 | 障がい児に対する就学支援の充実 | 学校教育課 | ・就学にかかわって、各小中学校と関係機関との連携を深め、巡回相談や教育相談を充実させるとともに、就学診断委員会、就学指導委員会につなげます。 | 就学診断委員会開催数 | 5 | 5 | 回 | 伊賀市子ども発達支援センターや伊賀つばさ学園等と連携し、巡回相談や教育相談を実施し、就学診断委員会や就学指導委員会につなげました。 | 福祉や医療の関係機関と連携することで、一人ひとりのニーズに応じた適切な支援へつなげることができました。 | 5 | A | 5 | 5 | |
| 129 | | | 51 | 特別児童扶養手当の支給《再掲》 | 子ども未来課 | ・身体や精神に障がいのある20歳未満の児童の福祉増進を図るため、特別児童扶養手当を支給します。 | 受給者数 | 158 | 165 | 件 | 身体や精神に障がいのある20才未満の対象者について、児童の福祉増進を図るため、経済的な面から支援するための申請受付等を行いました。 | 児童の福祉増進につながります。 | 168 | AA | 165 | 165 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | | |
|-----|-------------------------|-----------------------------|-------------------|---|------------------------------|------------------|--|-------|--------------------------------|--------------------|---------|--|-------------------------------------|---------|----|-------|---------------|--|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 | |
| 130 | 3 子どもの健全育成を推進するための体制づくり | 3-2 要支援児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 | ① 支援を要する子どもへの取り組み | 51 | 障害児福祉手当の支給《再掲》 | 障がい福祉課 | ・重度の障がいがあり、日常的に特別な介護を必要とする20歳未満の児童に対して障害児福祉手当（国制度）及び重度障害児福祉手当（市制度）を支給します。 | 支給者数 | 110 | 110 | 人 | 障害児福祉手当（国制度）は8月1日号、重度障害児福祉手当（市制度）は9月1日号の広報内を広報伊賀市及びHP上で周知しました。 | 障害児の生活の向上及び介護者の経済的負担の軽減を図りました。 | 122 | AA | 125 | 31年までの累計（625） | |
| 131 | | | | 51 | 障がい者医療費助成制度《再掲》 | 保険年金課 | ・身体障害者手帳1～3級、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳1級または2級を持っている方（通院のみ）に医療費を助成します。 | 登録者数 | 1,585 | 1,590 | 人 | 左記受給者に医療費を助成しました。また、年度更新にあたり、制度の案内を広報伊賀市及びHP上で周知しました。 | 医療費の助成により、受給者の福祉増進と経済的な負担軽減が図られました。 | 1,581 | B | 1,600 | 1,600 | |
| 132 | | | | 52 | 母子・父子自立支援員や関係機関による相談・情報提供の充実 | こども未来課 | ・ひとり親家庭の自立に向けた生活・就労支援の情報提供を行い、各関係機関の連携のもと相談業務を行います。 | 延相談件数 | 336 | 330 | 件 | ひとり親家庭の自立に向けた生活・就労支援の情報提供を行い、各関係機関の連携のもと相談業務を行いました。 | ひとり親家庭の自立に寄与します。 | 402 | AA | 330 | 330 | |
| 133 | | | | 52 | 伊賀市自立支援教育訓練給付金事業 | こども未来課 | ・母子家庭の母及び父子家庭の父を対象に、仕事に必要な資格や技術を身に付けるため、就業に結びつく可能性の高い教育訓練講座の受講料の一部を支給し、母子家庭の母及び父子家庭の父の主体的な能力開発の取り組みを支援し、自立の促進を図ります。 | 件数 | 2 | 2 | 件 | 広報いが市6/15号に掲載し、制度について周知を図りました。 | 今後も、市民に周知を行っていきます。 | 0 | D | 2 | 2 | |
| 134 | | | | 52 | 伊賀市高等技能訓練促進費事業 | こども未来課 | ・母子家庭の母及び父子家庭の父を対象に、就職や転職に有利な資格（看護師・保育士等）を取得するため、養成機関で訓練を受ける場合に、養成訓練の一定期間に促進費を支給します。また、養成機関への入学時における負担を考慮し、入学支援修了一時金をカリキュラム終了後に支給します。2件2,046千円 | 支給月数 | 12 | 15 | 月 | 広報いが市6/15号に掲載し、制度について周知を図りました。 | 今後も、市民に周知を行っていきます。 | 24 | AA | 15 | 24 | |
| 135 | 52 | ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 | こども未来課 | ひとり親家庭の保護者や子どもに対し、高校卒業程度認定試験合格のための講座受講費用を助成し、就労を支援する。 | 助成者数 | — | 1 | 件 | 本年度から制度を創設し、ひとり親家庭の支援体制を整えました。 | ひとり親家庭の自立促進に寄与します。 | 0 | D | 1 | 1 | 新規 | | | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | | |
|-----|-------------------------|----------------------------|------------------|-----|---------------------------|------------------|---|------------------|------------------------|-------|---------|---|---|---------|----|-------|-------------|------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 | |
| 136 | 3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり | 3-2要支援児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 | ②ひとり親家庭への自立支援の推進 | 52 | 母子寡婦福祉団体自主事業への支援 | こども未来課 | ・母子寡婦福祉団体等に対する活動支援及び連携に努め、母子・父子家庭や寡婦の自立促進に向けた取り組みを推進します。 | 自立支援員の配置数 | 1 | 1 | 人 | 伊賀市母子寡婦福祉会の母子家庭や寡婦の一層の自立促進と社会貢献、福祉の向上のための支援を行いました。また、母子、父子自立支援員を1名配置し、ひとり親家庭等からの相談体制を整えました。 | ひとり親等家庭の自立促進に向けた支援が課題でありハローワークと連携し、就労につなげるケースを増やします。 | 1 | A | 1 | 1 | |
| 137 | | | | 52 | 一人親家庭等医療費助成制度《再掲》 | 保険年金課 | ・18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にあるひとり親家庭の児童、及びその児童を扶養している父または母、または父母に代わってその児童を養育している方に医療費を助成します。未就学児の医療費窓口無料化を実施するため準備を進めます。 | 登録者数 | 1,632 | 1,640 | 人 | 左記受給者に医療費を助成しました。また、年度更新にあたり、制度の案内を広報伊賀市及びHP上で周知しました。 | 医療費の助成により、受給者の福祉増進と経済的な負担軽減が図られました。 | 1,569 | B | 1,500 | 1,500 | 下方修正 |
| 138 | | | | 52 | ひとり親家庭の保育所（園）への優先入所の推進 | 保育幼稚園課 | ・ひとり親家庭の就労や求職活動を支援するため、優先的な入所に取り組みます。 | 保育所（園）のひとり親世帯児童数 | 228 | 200 | 人 | 入所調整において加点するなど優先的な入所に取り組みました。また、未婚のひとり親家庭に対して、保育料算定に係るみなし寡婦控除の適用を行いました。 | ひとり親家庭の子育てを支援するため、継続して取り組みます。 | 225 | AA | 200 | 200 | |
| 139 | | | | 52 | ひとり親家庭の放課後児童クラブの優先利用の推進 | こども未来課 | ・ひとり親家庭が地域のなかで安心して子育てと就労との両立が図れるよう、利用料の減免を行い、優先利用ができるよう取り組みます。 | 対象者数 | 78 | 60 | 人 | 一人親家庭等医療費助成受給世帯に対し、利用料金の減免を行い、より放課後児童クラブを利用し易い体制を整えました。 | 継続して取り組みます。 | 76 | AA | 60 | 60 | |
| 140 | | | | 52 | ひとり親家庭の公営住宅の入居への優先資格制度の充実 | 建築住宅課 | ・ひとり親家庭（母子）の生活支援として、公営住宅入居の優先資格の情報提供をします。 | 抽選会実施回数 | 1 | 2 | 回 | 年2回行っている公営住宅入居募集において、7月募集は1戸、1月募集は2戸の優先入居住宅を設定し、募集を行いました。 | 母子世帯における優先入居枠での申込みはありませんでしたが、今後も子育て支援の充実を図るため、優先入居による募集を行います。 | 0 | D | 2 | 31年までの累計〔7〕 | |
| 141 | | | | 52 | ひとり親家庭の公営住宅の入居への優先資格制度の充実 | こども未来課 | ・ひとり親家庭の生活支援として、公営住宅入居の優先資格制度の情報提供と、申請に必要なひとり親であることの証明書を発行します。 | 発行数 | 7 | 10 | 件 | ひとり親家庭の自立支援の一環として、市営及び県営住宅の入居を希望される方へ入居の優先資格制度の案内と入居申請時に必要な「母子世帯証明書」を発行しました。 | 生活支援の一環として、情報提供になる。 | 13 | AA | 10 | 15 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|-----|--------------------------|---|----|---------------------|--------|---|------|------|------------------------|----|---|----------------------------------|------|---------|-----|------|------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 142 | 3. 子どもの健全育成を推進するための体制づくり | 3-2 要支援児童への対応などきめ細かな取り組みの推進 ②ひとり親家庭への自立支援の推進 | 52 | 母子・父子寡婦福祉資金貸付金制度の充実 | こども未来課 | ・母子・父子家庭や寡婦の経済的自立や子どもの福祉を図るため、低利または無利子での各種資金の貸付について、母子・父子家庭や寡婦に周知を図ります。 | 貸付件数 | 11 | 5 | 件 | 貸付制度についてのチラシを作成して、母子家庭及び寡婦世帯に周知しました。 就学支度資金 2件 582,000円 就学資金 3件 10,704,000円 | ひとり親家庭の経済的自立に寄与した。今後も継続して取り組みます。 | 5 | A | 5 | 5 | |
| 143 | | | 52 | 児童扶養手当支給事業《再掲》 | こども未来課 | ・ひとり親家庭の生活の安定と自立を経済的な面から支援し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当を支給します。 | 支給者数 | 625 | 650 | 人 | ひとり親家庭等に安定した生活を送れるよう経済的な、面から支援を行いました。 | ひとり親家庭の生活の安定と自立を助け、児童福祉の増進を図る。 | 594 | B | 650 | 650 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | | |
|-----|-------------------------|-------------|---------------|-----|----------------------------|------------------|--|------------|------------------------|-------------------|---------|--|---|-------------------|----|-------------------|-------------------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 | |
| 144 | 3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり | 3-3子育て交流の推進 | ①子育てネットワークづくり | 53 | 関係機関の連携による子育て支援ネットワークの構築 | こども未来課 | ・子育て家庭に対して、きめ細やかなサービスや情報の提供が行えるよう民間の協力を得たリーフレットの配付や配置、市ホームページの充実に努めます。 | リーフレット配付枚数 | 1,000 | 1,000 | 部 | 子育て家庭に対して、きめ細やかなサービスや情報の提供が行えるよう各種子育て、子育てに関する情報誌を市内小児科等に配置しました。 | 継続して取り組みます。 | 1,000 | AA | 1,000 | 1,000 | |
| 145 | | | | 53 | 地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)(再掲) | こども未来課 | ・乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言などの援助を行います。子育て包括支援センター1箇所 子育て支援センター 7箇所 | 月当たり延べ利用回数 | 1,451 | 4,353 | 回 | 子育て支援センターで情報誌等を発行し、情報提供を行いました。地域子育て支援センター等の子育て家庭が集まる場を利用し子育て経験者が子育て世代に対して家庭教育に関する指導、助言を行ったり、相談に乗ったりする機会の提供に努めました。内容によっては、健康推進課や家庭児童相談員へつなげました。 | 子育て支援センターで情報誌を発行し、情報提供を行いました。子育て支援事業の中で、専門的な知識を持った講師より家庭保育に関する助言等を行い、相談の内容によっては、専門機関へ繋がりました。なお、利用状況に照らし、目標値の見直しが必要です。 | 1,402 | D | 4,248 | 4,073 | 意向調査から導いた目標値と現状数値との隔たりが大きい。 |
| 146 | | | | 53 | 子育て包括支援センター事業(再掲) | こども未来課 | ・子育て支援に関する中核施設として次の事業を行います。 ①市内の子育て支援施設のネットワーク化を図るための会議を行います。 ②子育てサークルの指導・育成、連携に努めます。 ③子育て支援講演会等の各事業を実施します。 | 回数 | ① 2 ② 2 ③ 5 | ① 2 ② 2 ③ 2 | 回 | ①市内子育て支援センターとの情報共有を行いました。 ②地域で子育て家庭を見守っていただける子育てマイスターの養成講座を三重県と共催で開催しました。 ③子育てサークル活動発表の場としてイベントを開催しました。 | 市内の各支援センター、子育てサークルとの連携や地域での子育てサポーターの養成講座などを子育て支援の中核施設として実施できました。 ③毎年、三重県との共催で実施できるかどうか未定です。 | ① 3 ② 0 ③ 1 | B | ① 2 ② 1 ③ 3 | ① 4 ② 4 ③ 2 | |
| 147 | | | | 53 | 児童館事業の充実(こども夏祭り) | しろなみ児童館 | 小学生と異年齢の保育所(園)、幼稚園の園児、就学前親子などが交流を持ち、親睦を深めることで、地域のつながりを強くします。 | 参加者数 | 200 | 200 | 人 | 交流事業として、地区文化祭やこども夏祭りの際に地域の異年齢児童と触れ合う機会を持ちました。 | 児童が主体となり、就学前児童、中学生、地域住民などと交流を深めることができました。 | 127 | C | 150 | 180 | |
| 148 | | | | 53 | 児童館事業の充実(地区学習会) | しろなみ児童館 | 差別を解消する生き方を身に付けるために、人権・部落問題学習を進めます。 | 回数 | 186 | 170 | 回 | 自分たちの住んでいる地域のこと、友達との関係など生活上での課題について学習を進めました。 | 地域や友達などへの興味が深まり、大切さの実感が深まりました。 | 184 | AA | 180 | 180 | 上方修正 |
| 149 | | | | 53 | 児童館事業の充実(卓球教室) | しろなみ児童館 | 教室の減少により、平成28年度をもって教室は終了。 | 回数 | 50 | 50 | 回 | 週1回講師による、卓球教室を実施しました。 | 個々の課題を持って、卓球に真剣に取り組むことで、健全育成を図りました。 | 46 | B | — | — | 28年度で終了 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|-----|-------------------------|------------------------------|----|-------------------------------------|--------|--|------------------|------|------------------------|------|---|---|---|---------|-----|------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 150 | 3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり | 3-3子育て交流の推進 ①子育てネットワークづくり | 53 | 子育て支援サークルの活動支援 | こども未来課 | ・子育て支援サークル活動の活発化を図るため、活動場所や活動に必要な情報提供等を行います。 | 回数 | 97 | 120 | 回 | 子育て支援センターで子育て支援サークル活動の活発化を図るため、活動場所や活動に必要な情報提供等を行いました。随時相談を受けました。 | 子育てサークルに活動場所の提供や必要な情報提供をしました。今後も継続して取り組みます。 | 109 | B | 120 | 120 | |
| 151 | | | 53 | 保育所（園）、幼稚園の行事や地域の行事を通じた園児と高齢者との交流推進 | 保育幼稚園課 | ・子どもの豊かな心や思いやりの心が育つよう高齢者との交流を行います。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所（園） | 保育所（園）の行事に招待したり、積極的に地域の行事に参加し高齢者との交流を行いました。 | 子どもの豊かな心や思いやりの心が育ち高齢者との交流を深めることができました。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |
| 152 | | | 54 | 地域住民と子どもや子育て家庭との交流の機会づくり | 保育幼稚園課 | ・保育所（園）において地域のボランティアと交流を行います。 | 箇所数 | 34 | 32 | 所（園） | 保育所（園）に地域で活動しているボランティアにきてもらい交流しました。 | 地域のボランティアとの交流を深めることができました。今後も交流を計画していきます。 | 32 | A | 31 | 31 | 再編整備の進捗状況により31年度目標値を変更しました。 |
| 153 | | | 54 | 地域住民と子どもや子育て家庭との交流の機会づくり | 学校教育課 | 幼稚園において、民生委員・児童委員、主任児童委員や地域のボランティアと交流を行います。 | 実施回数 | 0 | 1 | 回 | 保護者のサポートで様々な活動をしてきましたが、ボランティアとの交流会はできませんでした。 | 今後は、地域のボランティアとの交流を計画していきます。 | 1 | A | 1 | 2 | |
| 154 | | | 54 | 子どもの育成団体への支援 | 生涯学習課 | 家庭・地域・学校などが連携して青少年健全育成地域活動支援事業の助成を行い、青少年の健全育成活動を推進します。 | 青少年健全育成地域活動支援団体数 | 5 | 4 | 4 | 実施団体数 | 昨年度からの継続2団体、新規1団体が、青少年健全育成地域活動支援事業を実施しました。 | 各地区において、地域独自の特色を生かした事業に取り組むことができます。今年度は、これまで取組みができていなかった地区も取り組め、これで全地区で事業の実施が出来ました。 | 3 | B | 3 | 31年までの累計〔15〕 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|-----|-------------------------|-------------------------|----|--------------------|---------|---|--------------|------|------------------------|----|---|---|------|---------|-----|------|------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 155 | 3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり | 3-3子育て交流の推進 ①非行防止の推進 | 55 | 青少年センターにおける補導活動の充実 | 生涯学習課 | ・青少年の健全育成運動を推進し、地域社会全体で青少年の健やかな育成に努めるため、街頭補導の充実を図るとともに、学校や各活動団体との情報交換を推進します。 | 巡回補導活動回数 | 315 | 310 | 回 | 関係機関の協力をえて、計画通り随時街頭補導活動を行いました。 | 随時のパトロールの他、不審者情報の通報時には、パトロール要請に応じ児童の安全確保に努めました。不審者情報が増加している現状において、ボランティアでパトロールに協力いただいている人材の確保が必要です。 | 307 | B | 310 | 310 | |
| 156 | | | 55 | 有害環境の点検パトロールの実施 | 生涯学習課 | ・青少年の健全育成のため、立入調査員による有害図書などのパトロールを実施します。街頭啓発を実施し、市民の協力を得て、有害環境の浄化・改善を推進します。 | 回数 | 12 | 12 | 回 | 立入調査員の協力を得て、随時店舗等への立入調査を実施しました。 | 任命立入調査員研修会へ参加し、立入調査に必要な知識の習得に努めました。有害環境から青少年を守り育てるための取組を地域社会全体で一層推進していく必要があります。 | 12 | A | 12 | 12 | |
| 157 | | | 56 | 伊賀市のなかでの地域間交流の推進 | 生涯学習課 | ・家庭・地域・学校などが連携して、伊賀市の一体化した団体として青少年育成活動を推進します。青少年健全育成事業や家庭教育講演会において、児童の交流を促進します。 | 回数 | 1 | 1 | 回 | 社会教育委員との共催で「子どもについて一緒に考える集い」を平成29年2月19日(日)に開催しました。(番号83)ババママ子ども交流広場では、子どもがさまざまな人とふれあう機会もてるよう、子どもの育ちを支える実践を通じて、子どもの健やかな成長にふさわしい環境を地域が主体的に展開されるよう取組を進めました。また、「薬物乱用防止について」～青少年を取り巻く薬物の現況～を11月20日(日)に開催し、青少年を薬物被害から守るために大人がすべきことについて理解を深めました。 | 地域において、人と人とのつながりが希薄化する中、各々の団体が自発的・主体的な活動を展開していくよう働きかける必要があります。 | 1 | A | 1 | 1 | |
| 158 | | | 56 | 伊賀市のなかでの地域間交流の推進 | スポーツ振興課 | 青少年健全育成事業やスポーツ少年団活動を通して児童の交流を促進します。 | スポーツ少年団交流事業数 | 6 | 6 | 回 | ○スポーツ少年団種目交流会を実施(サッカー、バレーボール、野球)しました。 ○スポーツ少年団団員交流会を実施(スポーツ少年大会、スケート交流会、ミニ駅伝)しました。 | スポーツ少年団団員相互の親睦が図れました。課題としては、団員数が減少しており、交流会等への参加団数が減少しています。 | 6 | A | 6 | 7 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|-----|-------------------------|-------------------------------------|----|---------------------|---------|--|--------------|------|------------------------|----|--|--|------|---------|----|------|-------------------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 159 | 3・子どもの健全育成を推進するための体制づくり | 3-3 子育て交流の推進 ① 非行防止の推進 | 56 | ジュニアリーダーの育成・活用 | スポーツ振興課 | スポーツ少年団のリーダーとしての役割の理解や資質の向上を図り、将来のスポーツ少年団指導者を育成するため、スポーツ少年団リーダーの養成に組織的に取り組みます。 | ジュニアリーダー数 | 12 | 5 | 人 | 三重県スポーツ少年団主催のリーダー養成講習会へ参加しました。 | 養成講習会での経験を伊賀市スポーツ少年団事業で生かしています。課題としては、団員数の減少に伴い、リーダーに登録する団員が減っています。 | 0 | D | 1 | 3 | 資格取得には、養成講習会参加後、リーダースクール参加が必須（下方修正） |
| 160 | | | 56 | 小学生・中学生の活動の場づくり | 教育総務課 | 多くの地域住民や児童・生徒が身近にスポーツが楽しめるよう市内全小中学校の体育館・グラウンド等を開放します。 | 開放施設数 | 32 | 31 | 校 | 学校施設の使用に関する規則等に基づき、市内小中学校の体育館・グラウンド等を開放しました。 | 社会人や子どもの校外活動において、活動の場を提供しています。 | 31 | A | 31 | 31 | |
| 161 | | 3-4 子どもが健やかに成長する環境づくり ② 子どもの活動支援 | 56 | 子どもの活動を支援する団体の育成・支援 | スポーツ振興課 | 少子化が進むなか、子どもの野外・文化・社会活動などを通じて協調性や創造性を養うことを目的とし、青少年の健全育成のためスポーツ少年団への加入を促進します。 | 小学生数に対する加入割合 | 22 | 23 | % | 国、三重県スポーツ少年団へ団員登録しました。 | 国、三重県へ登録することにより、県大会、全国大会への参加が可能となりました。少子化の中で、子どものスポーツ活動が多様化しており、水泳や体操など市内のスポーツ少年団に登録しないクラブや団体での活動が増加しています。 | 27 | AA | 29 | 40 | |
| 162 | | | 56 | 自然環境を生かした遊び場の整備 | 都市計画課 | 平成29年4月から全面供用を開始します。 | 事業進捗率 | 90 | 100 | % | ・子どもからお年寄りまで誰もが気軽に運動でき、新たなスポーツレクリエーション活動等への対応ができる運動公園として、しらすぎ運動公園整備事業のH28年度施設完成を目指し工事を進めました。 | 全面オープンに伴い、子ども達が遊べる広大な芝生広場がご利用になれます。 | 100 | A | — | — | 平成28年度で終了 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 |
|----|------|------|---|-----|-------|------------------|----|------|------------------------|----|---------|----------|------|---------|----|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | |

4.仕事と生活の調和

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------------|--------------------|-------------------|----|------------------------|-------|---|-------|-----|-----|----|---|--|-----|----|-----|-----|------|
| 163 | 4・仕事と生活の調和 | 4-1 職業生活と家庭生活の両立支援 | ① ワーク・ライフ・バランスの推進 | 57 | 企業（職場）の理解を促進する情報提供の充実 | 商工労働課 | ・企業訪問等により人事担当者などと面談を行いワーク・ライフ・バランスについて啓発を実施します。 | 企業訪問数 | 286 | 250 | 箇所 | 企業・事業所に対し、訪問並びに文書による聴き取り調査を実施し啓発を行いました。あわせて、伊賀市人権学習企業等連絡会への加入を促進しました。 | 伊賀市人権学習企業等連絡会の開催や企業訪問等によりワーク・ライフ・バランスについて啓発を実施し、よりよい職場環境の形成を促進しました。 | 279 | AA | 290 | 290 | 上方修正 |
| 164 | | | | 57 | 働き方の見直しに関する労働者の意識啓発の推進 | 商工労働課 | ・労働者向けのセミナーなどの開催について検討します。 | 会議回数 | 1 | 1 | 回 | 労働者向けのセミナーなどの開催を検討し、10月に経営者や管理職等を対象とした「イクボス講座」を開催しました。 | 経営者や管理職等を対象にイクボス講座を実施することにより、従業員が安心して働き続けられる職場環境の形成を促進しました。 | 1 | A | 1 | 1 | |
| 165 | | | | 57 | 子育てを支援する各種制度の情報提供の推進 | 健康推進課 | ・妊娠・出産時から子育て支援情報を提供するため、母子健康手帳の交付時とこんにちは赤ちゃん訪問時に「母子保健事業のご案内」を配布します。 | 配布数 | 614 | 630 | 部 | ・妊娠・出産時から子育て支援情報を提供するため、母子健康手帳の交付時とこんにちは赤ちゃん訪問時に「母子保健事業のご案内」を配布しました。 | こんにちは赤ちゃん訪問時に、本人の状況に合わせた制度等の説明を行なうようにしています。 | 625 | B | 600 | 600 | |
| 166 | | | ② 子育てしやすい就業環境の整備 | 58 | 労働時間の短縮 | 商工労働課 | ・すべての労働者が職業生活や家庭生活及び地域活動にともに参加できるよう、事業所に対して労働時間短縮に向けた啓発を実施します。 | 企業訪問数 | 286 | 250 | 件 | 企業・事業所に対し、訪問並びに文書による聴き取り調査を実施し啓発を行いました。あわせて、伊賀市人権学習企業等連絡会への加入を促進しました。 | 伊賀市人権学習企業等連絡会の開催や企業訪問等により労働時間短縮に向けた啓発を実施し労働者の職業生活や家庭生活及び地域活動の充実を図りました。 | 279 | AA | 290 | 290 | 上方修正 |
| 167 | | | | 58 | 育児休業制度の普及 | 商工労働課 | ・育児休業制度の定着を図り、利用しやすい環境づくりを企業とともに進めます。 | 企業訪問数 | 286 | 250 | 件 | 企業・事業所に対し、訪問並びに文書による聴き取り調査を実施し啓発を行いました。あわせて、伊賀市人権学習企業等連絡会への加入を促進しました。 | 伊賀市人権学習企業等連絡会の開催や企業訪問等により育児休業制度の定着について啓発し制度を利用しやすい職場環境の形成を促進しました。 | 279 | AA | 290 | 290 | 上方修正 |
| 168 | | | | 58 | 就労支援事業の促進 | 商工労働課 | ・働く意欲がありながらさまざまな就労阻害要因を抱えるため、就労が実現できない就職困難を対象に、職業相談員による相談を通じ、求人情報の提供や職業訓練への誘導などの支援を関係機関と連携し実施します。 | 巡回回数 | 198 | 180 | 回 | 職業相談員による巡回相談を実施しました。 | 関係機関と連携し求人情報の提供や職業訓練への誘導などの支援を行い就職阻害要因の解決を促しました。 | 204 | AA | 180 | 180 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|-----|----------------------------------|------------------|--------|--|--------------|---|------------------|------|---|--------------------------------|--|---|------|---------|-----|------|------------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 169 | 4・仕事と生活の調和 4-1 職業生活と家庭生活の両立支援 | ◎男女共同参画による子育ての推進 | 58 | 男女共同参画フォーラムの開催 | 人権政策・男女共同参画課 | 男女共同参画社会実現に向け、「笑って笑って“イクイガ（伊賀を育てる）～私だったら、あなただったらどうする♪♪～」をテーマに、フォーラムを開催します。 創作落語「じゃんだーはらすめんと」を通し、性別役割分業の意識改革に努めます。 | 参加者数 | 408 | 250 | 人 | だれもが参加できる町づくりをテーマに、防災について講演会を行いました。被災地では介護や育児、炊き出しなどにおいて女性の負担が大きく、避難所のリーダーはほとんどが男性で、女性特有の悩みを相談しにくい環境だったことを目の当たりにし、防災における男女共同参画は、“災害時”だけでなく、“日常的”なものであることが重要だということを伝えました。 | 参加者数は目標値を上回ったが、子育て世代や若い世代の男性の参加が少ないことが課題です。 | 274 | AA | 280 | 280 | 会場を縮小したためH28から目標値を下げました |
| 170 | | | 58 | 男女共同参画センター情報紙「きらきら」等を通じた意識啓発の推進 | 人権政策・男女共同参画課 | ・年4回発行の男女共同参画センター情報紙「きらきら」等を通じ、家庭や子育てにおいて男女がともに参画することの重要性の理解を深めます。 | 発行回数 | 4 | 4 | 回 | 情報紙のコラムで、両立支援に関する話題を取り上げました。 | 事業実施後のレポート、またコラムを掲載することで、よりたくさんの方に男女共同参画についての意識啓発につなげました。 | 4 | A | 4 | 4 | |
| 171 | | | 58 | 男性講座や出前講座の開催 | 人権政策・男女共同参画課 | ・平成29年度より、3年間で45人を目標に、「みんなを活かす男性リーダー養成連続講座」を開催します。 また、男性講座や出前講座を実施し、男性が育児に関する知識を学習する機会を提供します。 | 回数 | 2 | 4 | 回 | 「育児男子講座」や「おとこの料理教室」を開催し、男性が子どもとよりよいコミュニケーションをはかり、家事に参画する機会を提供しました。 | 普段の生活でも実践できる内容だったので、男性が家庭のなかでさらに育児や家事に関わるきっかけとなったと考えます。 | 4 | A | 4 | 4 | 5回連続の男性リーダー養成連続講座は1回と数えています。 |
| 172 | | | 58 | 男性講座や出前講座の開催 | 健康推進課 | ・男性講座や出前講座を実施し、男性が育児に関する知識を学習する機会を提供します。 | ウエルカムベビー教室 夫の参加数 | 45 | 50 | 人 | 実習等の体験を通じ親になることを少しずつ実感してもらおうと共に、母親をサポートすることで母子により効果があることを伝えました。 | 夫婦で参加するケースが9割で、教室の前半は緊張気味の夫も後半は楽しそうに実習をしていました。 | 43 | B | 45 | 60 | |
| 173 | | | 58 | ウェルカムベビー教室（両親学級）《再掲》 | 健康推進課 | ・妊婦とその夫や家族を対象に、妊娠・出産に関する講話や妊婦体験、沐浴、心音聴取などの体験と情報交換の場、仲間づくりを目的として、土・日曜日に教室を開催します。妊娠中の生活、出産や育児について理解を深め、夫や家族の協力を得ることで家族が育児に積極的にかかわれるよう支援を行います。 | 参加者数 | 102 | 120 | 人 | 妊婦とその家族に対し、赤ちゃんのいる生活の話と妊婦体験、沐浴実習と予定日の近いグループで懇談を行いました。 | 妊婦とその家族を対象とするため、夫や家族との参加が増えています。実習を主体にするため定員を設けており、希望者が全て参加できない回もありました。 | 100 | B | 100 | 120 | |
| 174 | 58 | 結婚サポート事業 | こども未来課 | 結婚を希望する人やその家族を対象としたセミナーの開催、結婚活動を推進する事業実施団体に事業費の一部を助成します。 | 開催数 | — | 2 | 回 | セミナーを開催する中で、商工会議所等が実施する婚活イベントと連携を図りました。 | 関係団体との協働と結婚支援の取り組みの検証が必要となります。 | 3 | AA | 4 | 4 | 新規 | | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 |
|----|------|------|---|-----|-------|------------------|----|------|------------------------|----|---------|----------|------|---------|----|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | |

計画の目標値等

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---------|---------------|----|----------------|--------|---|---------|-------|-------|---|---|---|-------|----|-------|-------|--|
| 175 | 計画の目標値等 | 2・幼児期の学校教育・保育 | 61 | ①1号・2号認定【3～5歳】 | 保育幼稚園課 | 3～5歳児で保育の必要性がない子ども（主に、専業主婦（夫）または短時間のパートタイム労働の家庭など）に対し、就学前の教育を実施します。 | 幼稚園就園者数 | 351 | 557 | 人 | 3～5歳児で保育の必要性がない子どもに対し、就学前の教育を実施しました。 | 就園した児童に就学前教育を実施しました。今後、実績を見た上で、実態に即した目標値を検討する必要があります。 | 325 | C | 537 | 502 | |
| 176 | | | 63 | ②2号認定（3～5歳児） | 保育幼稚園課 | 3～5歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、保育を実施します。 | 入所者数 | 1,736 | 1,521 | 人 | 3月1日現在の保育所（園）への入所者数は、公立826人、私立901人でした（年齢・認定区分は4月1日現在のもの、広域委託を含む）。 | 入所（園）した児童に保育を実施しています。 | 1,727 | AA | 1,485 | 1,415 | |
| 177 | | | 64 | ③-13号認定【0歳児】 | 保育幼稚園課 | 0歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、保育を実施します。 | 入所者数 | 171 | 190 | 人 | 3月1日現在の保育所（園）への入所者数は、公立88人、私立96人でした（年齢・認定区分は4月1日現在のもの、広域委託を含む）。 | 保育士の確保など受入れ体制の充実が課題です。 | 184 | B | 186 | 178 | |
| 178 | | | 65 | ③-23号認定【1・2歳児】 | 保育幼稚園課 | 1・2歳児で保育の必要な子ども（主に、両親が共働きまたは長時間のパートタイム就労など）に対し、保育を実施します。 | 入所者数 | 714 | 767 | 人 | 3月1日現在の保育所（園）への入所者数は、公立312人、私立366人でした（年齢・認定区分は4月1日現在のもの、広域委託を含む）。 | 保育士の確保など受入れ体制の充実が課題です。 | 678 | B | 747 | 717 | |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017(平成29)年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016(平成28)年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|-----|---------|-----------------|----|--|------------------|---|------------|-----------------|------------------------|----|---|--|-----------------|---------|------------------|-----------------|-----------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 179 | 計画の目標値等 | 3・地域子ども・子育て支援事業 | 67 | ①時間外保育事業(延長保育事業)(再掲) | 保育幼稚園課 | 11時間の開所時間を超過して保育を実施します。 | 利用者数 | 21 | 129 | 人 | 公立保育所(園)9か所、私立保育所(園)8か所の計17か所で行いました(延利用者は4,212人)。 | 保護者のニーズに応え、子育て世帯を支援しています。今後、実績を見た上で、実態に即した目標値を検討する必要があります。 | 17 | D | 125 | 118 | 意向調査から導いた目標値と現状数値との差が大きい。 |
| 180 | | | 68 | ②放課後児童健全育成事業(再掲) | こども未来課 | 保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、その健全育成を図ります。 | 利用者数 | 低学年634 高学年95 | 低学年402 高学年299 | 人 | 放課後児童クラブを2施設新規に設置しました。 ・成和西放課後児童クラブ ・成和東放課後児童クラブ | 利用希望は年々増加(特に夏休み)していることから、未設置校区への設置に向けた協議を進めるとともに、利用ニーズに応じた対応を検討していく必要があります。なお、利用申込みや登録児童の動向分析を踏まえた目標値の見直しが必要です。 | 低学年655 高学年65 | AA | 低学年396 高学年296 | 低学年710 高学年80 | |
| 181 | | | 69 | ③子育て短期支援事業(ショートステイ)(再掲) | こども未来課 | 保護者の病気などの理由により、養育が一時的に困難となった場合や緊急一時的に保護を必要とする場合に、児童養護施設などで子どもを一時的に養育または保護します。 | 指標化できない | 0 | — | 日 | 家庭で子どもを養育することが一時的に困難となった場合、児童養護施設において一定期間、子どもを養育又は保護し、子ども及びその家庭の福祉向上を図りました。 | 家庭のニーズにあわせて預かり期間、場所等の調整を実施し、その家庭が抱える課題へ適切に対応しました。 | 14 | — | — | 14 | |
| 182 | | | 70 | ④地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)(再掲) | こども未来課 | ・乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言などの援助を行います。 子育て包括支援センター1箇所 子育て支援センター7箇所 | 月当たり延べ利用回数 | 1,451 | 4,353 | 回 | 子育て支援センターで情報誌等を発行し、情報提供を行いました。地域子育て支援センター等の子育てで家庭が集まる場を利用し子育て経験者が子育て世代に対して家庭教育に関する指導、助言を行ったり、相談に乗ったりする機会の提供に努めました。内容によっては、健康推進課や家庭児童相談員へつなげました。 | 子育て支援センターで情報誌を発行し、情報提供を行いました。子育て支援事業の中で、専門的な知識を持った講師より家庭保育に関する助言等を行い、相談の内容によっては、専門機関へ繋ぎました。 なお、利用状況に照らし、目標値の見直しが必要です。 | 1,402 | D | 4,248 | 4,073 | 意向調査から導いた目標値と現状数値との隔たりが大きい。 |
| 183 | | | 71 | ⑤-1一時預かり事業(幼稚園における在園児を対象とした一時預かり)(再掲) | 保育幼稚園課 | 幼稚園在園児の保護者の就労時間等の都合によって、降園時間後も引き続き預かります。 | 延利用者数 | 6,642 | 4,361 | 人 | 幼稚園在園児の保護者の申出によって、降園時間後も引き続き預かりました。 | 保護者のニーズに応え、子育て世帯を支援しています。 | 8,882 | AA | 4,205 | 3,923 | |
| 184 | | | 72 | ⑤-2幼稚園以外での一時預かり事業(ファミリー・サポート・センター事業含む) | 保育幼稚園課 こども未来課 | 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった子どもを一時的に預かります。 | 延利用者数 | 4,663 | 13,201 | 人 | ハイトピア伊賀4階の子育て包括支援センター内に事務所を移転し、直営で実施しています。 | 子育て支援と一体的な運営が可能となったことから、相談に結びつくケースが増えていきます。今後、実績を見た上で、実態に即した目標値を検討する必要があります。 | 3,578 | D | 12,827 | 12,178 | 意向調査から導いた目標値と現状数値との差が大きい。 |

| 番号 | 基本目標 | 基本施策 | 頁 | 事業名 | 事業実施課 | 2017（平成29）年度事業内容 | 指標 | 27実績 | 2016（平成28）年度 実施事業の進捗状況 | | | | | 31年度目標値 | 備考 | | |
|-----|---------|-----------------|----|-----------------------------|--------|--|-------|-------|------------------------|----|---|--|-------|---------|-------|-------|---------------------------------|
| | | | | | | | | | 28目標 | 単位 | 事業の実施内容 | 事業の効果・課題 | 28実績 | | | 28評価 | 29計画 |
| 185 | 計画の目標値等 | 3・地域子ども・子育て支援事業 | 73 | ⑥病児・病後児保育事業（再掲） | こども未来課 | 保護者の就労等の都合により、病気の回復期にある集団保育を受けることが困難な子どもを、専用施設で一時的に預かり安静を確保し保育します。 | 延利用者数 | 151 | 730 | 人 | 市内の小児科医や保育所（園）等へチラシ等を配付し、周知に努めました。 | 受入れ体制を整えるため、専門職のスタッフ確保に努めました。 なお、利用状況に照らし、目標値の見直しが必要です。 | 284 | D | 730 | 730 | |
| 186 | | | 74 | ⑦ファミリー・サポート・センター事業（就学児） | こども未来課 | 家庭において子どもの世話が一時的に困難となった小学生を一時的に預かります。 | 延利用者数 | 28 | 8 | 人 | 家庭において子どものお世話が一時的に困難となった小学生を一時的に預かりました。 | 継続して実施します。 | 9 | AA | 8 | 8 | |
| 187 | | | 75 | ⑧利用者支援事業（再掲） | 健康推進課 | 新制度で新たに創設された事業で、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報提供や相談、助言等を行います。 | 箇所数 | — | 1 | 箇所 | 妊娠中からの切れ目のない支援システム整備を行い、ケースの支援計画作成と関係機関との調整を行いました。 | 子育てへの切れ目のない支援が必要であるため、継続して取り組みます。 | 1 | A | 1 | 1 | 平成28年度から、実施課を健康推進課変更 |
| 188 | | | 76 | ⑨乳児家庭全戸訪問事業（こんには赤ちゃん事業）（再掲） | 健康推進課 | 生後4か月までの乳児がいる家庭を、助産婦または保健師が訪問し、子育てに関する相談や支援が必要な人への、適切なサービスの提供に繋がっていきます。 | 訪問件数 | 614 | 630 | 件 | 生後4か月児までの乳児の家庭を対象に、全戸を対象に訪問しました。地区担当の保健師や助産師が訪問し身体計測や育児に関する相談を受けます。育児の環境などの確認も行ないました。 | 訪問できない家庭の8割が外国人の家庭であり、通訳に連絡をしてもらっているが難しい状況です。 | 625 | B | 620 | 580 | |
| 189 | | | 77 | ⑩養育支援訪問事業《再掲》 | 健康推進課 | ・こんには赤ちゃん訪問で継続支援が必要と思われる家庭をはじめ、虐待の疑われる家庭やハイリスク家庭への保健師等による家庭訪問を実施します。また、各機関の連携をより深め、情報の共有を徹底していきます。 | 延訪問件数 | 77 | 120 | 件 | 継続支援が必要なケースに対し、訪問を実施しました。必要に応じ各機関と連携し、情報共有を徹底しました。 | 背景が複雑なケースが増えており、他機関との連携が必要です。 | 98 | B | 110 | 100 | 従来までのケースが転出や保育所入所等で訪問ケースが減少しました |
| 190 | | | 78 | ⑪妊婦健康診査（再掲） | 健康推進課 | 安心して妊娠、出産ができるよう妊婦健康診査にかかる費用を助成することにより、妊婦の健康管理の充実を図ります。 | 受診者数 | 7,538 | 9,100 | 件 | 14回分の健診費用助成をしました。 | 安心安全な出産のため、継続して取り組みます。 | 7,227 | B | 8,820 | 8,400 | |